

令和6年度 校内研究 研究紀要

夢を育む感動体験を味わうことのできる
新教科「おおたの未来づくり」の創出
～カリキュラム・マネジメントと地域材の活用～

大田区立徳持小学校

目次

目次	1
はじめに 大田区立徳持小学校 校長	2
I. 研究の概要	3
II. 研究実践報告	
<低学年分科会>	
第2学年 生活科「とびだせ！町のたんけんたい1」	8
<中学年分科会>	
第3学年 国語科「わたしの町のよいところ」	16
<高学年分科会>	
第5学年 おおたの未来づくり「プロジェクトT～挑戦者たち～」	30
第6学年 おおたの未来づくり「キッチンカー『とくもち号』」	38
III. 事前・事後アンケート結果	46
IV. 考察及び研究の成果と課題	61
おわりに 大田区立徳持小学校 副校長	63
巻末資料（カリキュラム・マネジメント表 及び 単元計画シート）	64

は じ め に

校長

本校では、今年度大田区研究推進校の指定を受け、研究主題を「夢を育む感動体験を味わうことのできる新教科『おおたの未来づくり』の創出～カリキュラム・マネジメントと地域材の活用～」としています。さらに、目指す児童像を「地域をより知り、地域とつながり、生き生きと学ぶ子」とし、低・中・高の三分科会を組織して研究をすすめて参りました。さらに、教師が児童に付けさせたい力を明確にし、低・中・高の分科会ごとに目指す児童像を掲げ、単元計画の工夫、課題設定の工夫をすることで研究主題に迫ることにしました。

新教科「おおたの未来づくり」は大田区独自の新設教科であるため、前例がなく手探りで研究主任を中心に研究をすすめて参りました。5年生は、地域創生をテーマに「徳持南町会」を盛り上げようというプロジェクトに取り組みました。町会のために何ができるのかを、こどもたちと町会の方々とで作り上げた案を披露し、今後の町会活動に光がともされたと地域の方に感謝されました。また、6年生では、「ホットドッグソースの考案」をし、実際のお店（キッチンカー）で作成販売を行うことができました。事前の準備では、教員それぞれが自分の足で情報をつかみ取り、児童が笑顔になる取り組みを行いました。研究では全教員で一生懸命考え、授業研究を行ってこられたことは教職員の熱意とチームワークのお陰だと感謝しております。次年度に新設教科として取り組むにあたり、以下のような成果と課題が明らかになりました。

成果

- 「地域」をポイントにおいて、授業づくりに取り組むことができた。「まち探検に行ったことを1年生に発表する。」という目的を作ったことで、相手意識をもって取り組むことができた。（低学年）
- ステップチャートを利用して児童が伝えたいことを整理できた。発問と質問の使い分けや教師がよく使う3つの言葉について考えることができた。（中学年）
- これまで以上に地域とのつながりができたり、こどもたちの地域への意識を向上させたりすることができた。また、この教科の学習過程を成立させるための授業パートナーを選定できた。（高学年）

課題

- 1～4年生のうちにおおたの未来づくり科の育成を目指す資質・能力の素地を育てていくことが大事であり、その組織的・系統的な指導の在り方。
- 日頃のこどもたちの言語活動において、全学年を通して、文章の読解力・表現力、自分の考えを表現するための国語力が必要であることも明らかになった。
- 5・6年生になるまでにどのような資質・能力が身に付いていることが必要であるかを今後検討し、創造的な資質・能力の素地を計画的かつ段階的に育成していくことが課題である。

結びになりますが、ご多用の中、本校の研究に際しまして、ご指導・ご助言をいただきました、大田区教育委員会 指導課 指導主事 様、並びに、 様に感謝申し上げます。

I. 研究の概要

1 研究主題

夢を育む感動体験を味わうことのできる 新教科「おおたの未来づくり」の創出 ～カリキュラム・マネジメントと地域材の活用～

2 主題設定の理由

【現代における教育課題より】

小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 総則編には、「生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きく、また急速に変化しており、予測が困難な時代となっている。また、急激な少子高齢化が進む中で成熟社会を迎えた我が国にあっては、一人一人が持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことが期待される。」とある。さらに、そうした社会の変化を踏まえ、「このような時代にあって、学校教育には、こどもたちが様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題解決していくことや、様々な情報を見極め知識の概念的な理解を実現し情報を再構成するなどして新たな価値につなげていくこと、複雑な状況変化の中で目的を再構築することができるようにすることが求められている。」と示されている。これらは、小学校学習指導要領が施行されて七年が経った今もなお、変わることなく求められている現代的な教育課題であると認識している。

他者と協働して課題解決していくこと、学習したことを生かして情報を再構成し新たな価値を創出すること、状況が変化していく中で目的に合った臨機応変さを身に付けていくことは、今もこれからの社会でも求められていく資質・能力であると考えた。

【本校の実態より】

本校は、令和 7 年度から大田区立小学校で実施予定の新教科「おおたの未来づくり」における、令和 6 年度の独自教科新設に向けた研究実践校に指定された。それを受け、この新教科「おおたの未来づくり」の年間学習計画や単元計画を練り上げ、実践していくことが急務となった。

また、前年度までの研究から、以下のことが本校の児童の課題として挙げられた。

- ①人の話がきちんと最後まで聞けず、それを踏まえた発言やその場に合った言葉遣いができない。
- ②行動力はあるものの、活動には受動的で指示待ちの姿勢になってしまう児童が多い。
- ③探求する力が弱く、プレゼンテーションする力に個人差が大きい。

これらの課題を受けて、本校教師は、本校の児童に対して、「地域をより知り、地域とつながり、生き生きと学ぶ」ようになり、変化の激しい社会で、協働的に、状況に応じて解決方法を探りだしていく素地を養ってほしいと考えた。また、教科「おおたの未来づくり」新設の趣旨や目標（育成すべき創造的な資質・能力）が、本校の実態に合致していると捉えた。

※教科「おおたの未来づくり」の詳細については、

教科「おおたの未来づくり」指導の手引き（案）（令和 6 年 5 月版）大田区教育委員会 を参照。

【本校における近年の研究経過】

本校における近年の研究経過と大きな成果（○）は以下の通りである。

◎令和3年度以前

「主体的・対話的で深い学びを目指した授業づくり」～国語科を通して～

○それまでの研究から「学習課題の設定」に重点を置いて研究を進め、効果を検証することができた。

◎令和4年度

「主体的・対話的で深い学びを目指した授業づくり」

○国語科での研究成果を生かしつつ、友達の意見を聞く態度や、違う意見を許容する態度が養われた。

◎令和5年度

「交流で互いの考えを認め合い、学び合うことのできる対話力の育成」～外国語活動を通して～

○本研究を通して、教師の外国語授業の在り方への理解が深まり、児童の外国語学習への興味関心、積極性が増した。

【課題と研究主題の設定】

以上のような現代の教育課題、本校の課題に対する我々教師の願い、過去の研究実践における成果と課題を踏まえて、本年度の研究主題を設定した。また、本校の学校経営方針にある「夢を育む感動体験」というキーワードから、研究主題を「**夢を育む感動体験を味わうことのできる新教科「おおたの未来づくり」の創出～カリキュラム・マネジメントと地域材の活用～**」とした。教科「おおたの未来づくり」の年間学習計画・単元計画シートの作成、パートナー企業や団体の選定、計画した単元の実践と検証に研究の重点を置いて、主題に迫っていくこととした。

3 研究の方法

全体に関わること

【教科について】

- ・令和7年度からの大田区独自の新教科「おおたの未来づくり」（以下、未来づくり科）の年間指導計画及び単元構成、指導方法について研究を行う。

5・6年：上記の通り

1～4年：新教科に接続するような形で、主に生活科・総合を中心に検討する。もしくは、指導の手引きに示された、創造的な資質・能力の素地の育成に焦点化し、各教科の指導で研究する。

【研究主題に対して】

<目的>

昨年度と研究する教科が替わり、またその教科も新設であることから、教科そのものを立案計画していくことを目的とする。

<目標>

- ・5・6年においては本年度末までに単元計画シートを完成させ、授業パートナーを決定し連携すること、及び、1単元は実践しその計画や指導方法について検討する。
- ・1～4年においては、創造的な資質・能力の育成のために、指導計画表を作成し、各教科において重点とする単元を決定し、その指導について検討する。
- ・全学年共通事項として、年間単元配列表（各教科、総合的な学習の時間（未来づくり科含む）もしくは生活科、学校行事等を貫いたもの）を作成する。

以上を目標とする。

【研究組織について】

- ・前年度より継続する・・・(低学年・中学年・高学年分科会)
- ・専科の先生は、各分科会に分かれて属する。

各分科会での研究の流れ

- (1) 年間指導計画や単元計画を学年ごとに検討する。(お未来づくり科ポータル等)
- (2) 各分科会で授業を行う日程を検討する。・・・__月__日(____) 7/2(火)の3部会迄
※校内研究実施計画をもとに、2・3学期の中で行いたい日程を検討する。
- (3) 研究主題、あるいは目指す児童像に即した実態調査アンケートを必要に応じて実施する。
- (4) 研究構想図や実態調査アンケートを基に、各分科会および学年ごとに年間・単元指導計画を検討する。
- (5) 目指す児童像にむけた具体的な手だてを決める。・・・指導案検討迄
- (6) 指導案作成・検討
- (7) 研究授業実施・協議会・指導講評
- (8) 単元後に、実態調査アンケートや児童の様子から成果と課題を出す。
- (9) 来年度に向けて検討する。

協議会の進め方

各分科会が混じったグループ構成にする。児童の具体的な姿を通して、主題や目指す児童像に迫るための単元計画や手だてが有効であったかを話し合う。また、未来づくり科関連、児童の学びの質やつまずき、授業の改善案など、気付いたことをグループ内で付箋に書いて話し合う。付箋の内容は、よかった点(青)、質問(黄)、改善点(赤)で端的にまとめる。その後、グループ内で出た意見をグループ全員が全体に向けて発表するようにする。意見や疑問に対しては、授業者や分科会だけでなく、参加者全員で議論する。

授業観察の視点は以下の3つとする。

- (1) 未来づくり科で育成すべき、創造的な資質・能力とその素地の育成について
- (2) 指導案で定めた授業観察の視点について
- (3) 時間があれば、上記以外の内容で話し合う。

4 研究活動計画

日付		検討内容
4月1日	研究推進部会1	組織決め、校内研究内容・方法、研究構想図案、校内研究計画提案
4月2日	研究推進部会2	・上記内容についての検討・修正 目指す児童像を全体会で検討する旨を周知
4月8日	第1回研究全体会	・研究内容と方法について ・研究構想図について ・研究の計画について ・今後の予定
4月9日	研究推進部会3	・目指す児童像を受けて、今後の予定の再確認 児童実態調査事前アンケート素案検討を担当に依頼
5月7日	研究推進部会4	・児童実態調査事前アンケート内容検討 ⇒次回部会で結果を考察できるように実施
5月29日	校内研究日	分科会（単元計画等立案）
6月4日	研究推進部会5	分科会のききとり児童実態調査事前アンケート結果考察 講師検討 次回授業日確定
6月26日	校内研究日	分科会（各分科会の授業者決定）
7月2日	研究推進部会6	各分科会の授業日決定
9月3日	研究推進部会7	指導案部会検討（授業①）×切：8月登校日
9月18日	校内研究授業①	
10月1日	研究推進部会8	指導案部会検討（授業②）×切：9月24日（火）
10月22日	第2回 お未来づくり科 エリア協議会	
11月5日	研究推進部会9	指導案部会検討（授業③）×切：10月29日（火）
11月29・30日	学習発表会	5・6年生
12月3日	研究推進部会10	指導案部会検討（授業④）×切：11月26日（火）
12月11日	校内研究日	
1月14日	研究推進部会11	児童実態調査事後アンケート内容検討 本年度の成果と課題内容検討 来年度の研究に向けて年間指導計画や内容の検討
1月22日	校内研究日	成果と課題の検討
2月4日	研究推進部会12	児童実態調査事後アンケート結果考察
2月19日	校内研究日	分科会（今年度の成果と課題）
3月3日	研究推進部会13	本年度の成果と課題（各学年でまとめたものを検討） 研究紀要入力・保存締め切り 来年度の研究に向けて（児童と職員のアンケートを基に）
3月13日	第2回研究全体会	来年度の研究に向けて
3月25日	研究紀要完成	研究紀要製本作業

5 令和6年度 研究構想図

徳持小学校の教育目標

・考える子 ・やさしい子 ・つよい子

【成果】

- ◎自分の考えを発表したり発信したりすることに抵抗がなく、前向きに取り組める。
- ◎ICTを活用することに意欲的で、すぐに覚えて活用することができる。
- ◎活動的・体験的な学習に対してとても意欲的である。

【課題】

- △人の話がきちんと最後まで聞けず、それを踏まえた発言やその場に合った言葉遣いができない。
- △行動力はあるものの、活動には受動的で指示待ちな姿勢になってしまう児童が多い。
- △探求する力が弱く、プレゼンテーションする力に個人差が大きい。

【研究主題】

夢を育む感動体験を味わうことのできる「未来づくり科」の創出
～カリキュラム・マネジメントと地域材の活用～

【目指す児童像】

地域をより知り、地域とつながり、生き生きと学ぶ子

各分科会の目指す児童像

低学年分科会	中学年分科会	高学年分科会
地域の人との関わりを楽しむ子	地域を好きになり、自ら聞き、相手に応じて発信する子	様々な人と関わり、疑問やひらめきを大切に、夢中に学び続ける子

【研究仮説】

地域と関わる機会と他者へ発信する活動を構成することで、目指す児童像へつながるだろう。

【目指す児童像に迫るための手だて】

視点1:カリキュラム・マネジメント上の工夫

手だての例・・・今年度は、各学年・分科会でご検討ください

視点2:地域材活用についての意図や工夫

手だての例・・・今年度は、各学年・分科会でご検討ください

《低学年分科会》

第2学年 生活科学学習指導案

日 時 令和6年9月18日 5校時

13:30～14:15

対 象 第2学年1組 35名

1 単元名 「とびだせ！町のたんけんたい1」（22時間扱い）

2 単元目標

自分たちが住むまちを探索する活動を通して、まちの自然、人々、社会、公共物に関心をもつとともに、自分たちの生活は、まちで生活したり働いたりしている人々や様々な場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
まちの自然や人々、社会、公共施設などの様子や、自分たちの生活の関わりに気付くとともに、自分のまちの良さに気付いている。	まちの人々や様々な場所と適切に関わることや、安全に生活することについて考えたり、まち探索で発見したことや気付いたことについて、自分なりの方法で表現したりしている。	自分の生活しているまちに関心をもち、まちの人々や様々な場所に親しみをもって関わったり、友達と協力してまちを探索したりしようとしている。

4 単元について

(1) 指導内容

- ・身の回りにはみんなで使うものがあることやそれらを支えている人々がいることなどが分かる。
- ・地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考える。
- ・地域に親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとしている。

(2) 創造的な資質・能力を重点的に育成する単元として設定した理由

地域の施設について関心をもち施設について調べ、分かったことを発信する方法を学ぶことが、“おおたの未来づくり”の地域の創生や、地域の取り組みの提案を学習することにつながると考える。

5 児童の実態

明るく、学習意欲旺盛の児童が多い。アンケートの結果によると、自分が育つ池上のまちを愛している児童がほとんどで、ほぼ3/4の児童がまちのことをよく知っていると自己分析している。地域の人々とのコミュニケーションをとることについては、いまだ経験が少ないが、うまくとることができると考えている児童が多い。学習についてアンケートの回答は、友達の意見を聞くことは得意であるが、自分の考えを発表することに自信がないと感じている児童が若干多い傾向がある。そこで、1年生に発表する形をとることで、意図的に意見を言う場を設定した。ICTを活用して、プレゼンテーション資料を作成する技能については写真の取り込みなどについては個人差があるが、1年生の時の学習で文字入力の方法は、ほとんどの児童が身に付けている。

	とても あてはまる	ややあてはまる	あまり あてはまらない	あてはまらない
池上や徳持のまちが好きですか	68.6	29.4	0	2
池上や徳持のまちのことをよく知っていると思いますか	25.5	52.9	15.7	5.9
地域の大人のひととすんでコミュニケーションをとることができますか	25.5	47.1	17.6	9.8
勉強をするとき、自分の意見を相手に伝えるように話せますか	37.3	51	9.8	1.9
勉強するとき、友達の意見を最後まで聞くことができますか	53.2	34	8.5	4.3

6 創造的な資質・能力の素地を育成する視点

プレゼンテーションをするためのスライド作成を通して、分かったことや考えたことを相手に分かりやすく伝えるための言語や情報技術に関する知識及び技術の基礎を身に付ける。

7 創造的な資質・能力の素地を育成するための手立て

(1) 体験的な活動

- ・施設を見学することで地域の公共施設をより身近に捉えられるようにする。
- ・1年生に調べたことを教える機会を設けることで、分かり易く伝えるために、より積極的に調べたり、まとめたり発信したりする動機付けとなるようにする。

(2) ICT等の活用

- ・見学した場所によってグループで発表のテーマを決め、テーマに沿ってスライドを作成したり、原稿を書いたりして、発表できるようにする。
- ・プレゼンテーション資料の例を提示することにより、いずれオリジナル作品を作るときの手掛かりになるようにする。

8 指導計画

時	学習過程	○主な学習活動（※それぞれの学習過程で児童が取り組むこと） ★創造的な資質・能力の素地を育成するための手立て	◆評価規準 【観点】（方法）
1 ～ 3	まちたんけんの計画をたてよう。	○登下校時や休日などに、まちで見つけたおすすめのものや場所を紹介する。 ★見学することで地域の公共施設をより身近に捉えられるようにする。 ○友達の話聞いて、詳しく調べてみたい場所をきめよう。	【主】①（発言の観察） まちの人々や様々な場所に親しみをもつ。
4 ～ 17	まちたんけんに出かけよう	○学区いきを歩いてみよう。（2時間） ★見学することで地域の公共施設をより身近に捉えられるようにする。 ○池上警察たんけんに行こう。（4時間） ○池上図書館たんけんに行こう。（4時間）	【知】①（ワークシート・活動の観察） まちの様々な場所や働いている人たちが自分たちの生活を楽しんでいることに気付いている。

18 ～ 22	調べたことをつたえよう。 本時	○池上警察や池上図書館で調べたことを、1年生に教えるための資料作成をする。 ○ペアグループ同士で、発表を聞き合い、気付いたことを伝え合う。(本時) ★1年生に調べたことを教える機会を設けることで、分かり易く伝えるために、より積極的に調べたり、発信したりする動機付けとなるようにする。 ○1年生に警察や図書館について発表する。 ○池上のまちの他の施設をもっと知りたいという意欲をもつ。 ★プレゼンテーション資料の例を提示することにより、いずれオリジナル作品を作るときの手掛かりになるようにする。	【思】①(制作物・活動の観察) 発見したことや気付いたことについて、自分なりの方法で表現している。
---------------	------------------------	--	---

9 本時の指導(全22時間中の第19時)

(1) 目標

警察署たんけんや図書館たんけんを通して、他のグループの発表を聞いて、気付いたことを伝え合う。

(2) 展開

	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	◆評価規準【観点】(方法) ★創造的な資質・能力の素地を育成するための手立て
導入	○本時のめあてを設定する。 ○本時の学習活動の流れを確認する。	
	ペアグループで発表を聞き合い、気付いたことを伝え合おう。	
	○教師がデモンストレーションをしながら、発表を聞く時の観点を確認する。	★確認した観点を掲示して、ペアグループのよくできたところを明確に見つけられるようにしておく。
展開	○発表の流れを確認する。 ○グループごとに発表を聞き合い、アドバイスを参考にしてプレゼンテーション資料の改善をする。 ○アドバイスをする観点の資料を参考にして、ペアグループの発表を聞き、資料が改善できるような意見を言う。	★基本のフォーマットを提示して、写真を取り込んだり、手書きの資料を取り込んだりして、基本的な発表資料を作る参考となるようにしておく。 ★ペアグループでお互いに発表を見合って練習することで、よりよい資料を作るためのヒントを得たりできるようにする。 ★いい発表のグループを紹介し、全体で取り上げて共有できるようにする。 ◆【思】(制作物の内容・話し合い活動の観察)
振り返り	○各グループの進捗を確認し次の時間に仕上げる。 ○めあてを達成するために努力した点や工夫した点、次回に生かしたいことを振り返る。	★グループの話し合いの進め方や、目的に合ったアイデアの発表資料を取り上げ、アイデアを考える際の効果的な手法を共有化する。

10 研究協議会

(1) 授業者自評

- ・ ICT 機器を活用することが苦手だが、こどもたちと共に勉強しようと思い、ICT 機器を活用した授業を行った。
- ・ 未来づくり科を意識しながら授業づくりに取り組んだ。
- ・ チームで研究授業を進められたのがよかった。

(2) 研究協議

ア 成果

- ・ 1 年生に伝えるという目的意識があってよかった。
- ・ スライドと話す言葉が分かりやすくまとめられていた。
- ・ 話型を提示していたのは、よかった。

イ 質問

- ・ 町探検の場所を何か所かに分けてもよかったのではないか。

→ 今回の学習をスタートとして行い、次の学習につなげられるように設定した。

今後の学習では、こどもたちの希望に合わせて取り組む予定である。個人商店、神社、幼稚園など保護者の方や地域の方にも協力してもらい、見学する。

- ・ グループ編成はどのようにしたのか。

→ こどもたちに希望を取った上で、男女比、タブレット操作ができる子、人間関係、リーダー編成を考慮し、グループ編成した。

- ・ 違うグループに発表した方がよかったのではないか。

ウ 課題

- ・ 同じような感想が多かったので、別の感想を入れた方がいい。感想をまとめるときに、視点を伝えるといい。
- ・ 聞く視点多かったので、ポイントを絞るとよかった。
- ・ 班によって差があったので、事前にどの程度できているかを確認したり、学習の流れがわかるように提示したりするとよかった。
- ・ 「カッコよかった。」「白バイに乗れてうれしかった。」などの感想を取り上げるだけでなく、生活科としての視点を入れた方がよかった。

例) 自分たちの暮らしとどのようにかかわっているのか、どんな仕事をしているのか、どんな願いをもって仕事をしているかなど

(3) 講師指導講評

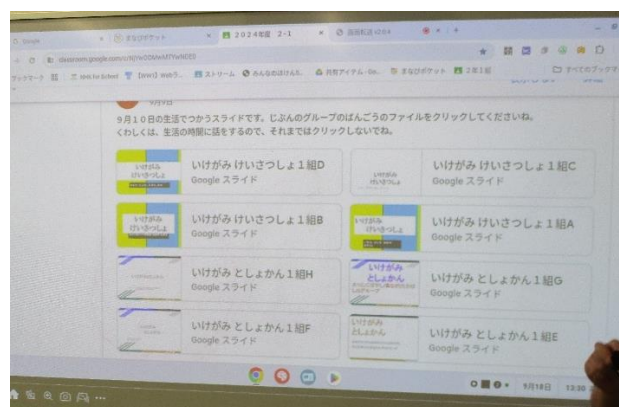
- ・生活科は、おおたの未来づくり科とリンクしている。大きな違いは、こどもありきで行うのが生活科であり、課題を与え、そこに向かって取り組んでいくのがおおたの未来づくり科である。今回の授業は、おおたの未来づくり科によった授業になっていたのも、生活科の学習として進めていく。
- ・徳持小学校の現状を捉えた上で、研究主題を考えていく。それが徳持の研究の特色につながる。
- ・創造的な資質・能力の素地について 1年生から4年生までの間に育てたい資質・能力なので、2年生の段階に合わせて設定すればよい。生活科は、多岐にわたるので、手立てがたくさんある。今回は、知識・技能の手立てになっていたのも、焦点化するのが難しい。
- ・「なぜ改善しなきゃいけないのか。」をこどもたちがどのくらい必要性に感じていたか。この視点が大事である。
- ・発表を聞く時の視点がたくさんあったので、こどもたちが何を見たらいいのかが分からなくなっていた。どこに焦点化するのかを決めておく。
- ・友達からアドバイスをどのように記録するのか。自分たちの班を動画で撮り、振り返りの際に使用する。また、自分たちの発表会はどうだったかを自分たちで確認するために動画で記録する。自己評価の視点は、目標をそろえる。
- ・個別最適な学びとして、スライドを活用した実践はよかった。
- ・5・6年生 創造的な資質・能力、1～4年生 創造的な資質・能力の素地
創造的な資質・能力の素地のポイント：重点化・バランスの取れた視点の設定、加速させるような創造的な資質・能力の素地を設定する。

11 成果と課題

	成果	課題
教師	・「地域」をポイントにおいて、授業づくりに取り組むことができた。	・話す力（国語の力）について 2年生に向けて、1年生の段階でどこまでできていけばよいのか。 ・低学年のうちに、未来づくり科への素地を育てていくことが大事である。そのため、1年生と2年生のつながりを意識して取り組んだ。しかし、2年生から3年生へのつながりをあまり意識できなかった。 ・2年生で学習したことが、3年生以降の学習で生かすことができるようにする必要がある。 例) 生活科の学習 ⇒ 社会科や総合の学習へ
児童	・「町探検に行ったことを1年生に発表する。」という目的を作ったことで、相手意識をもって取り組むことができた。	・発表の仕方について 1年生に向けての発信の仕方を適切だったか。

12 単元及び授業の様子

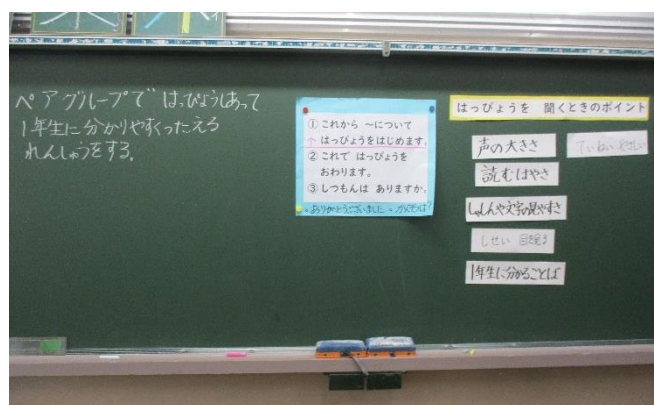
発表の約束事を確認する様子



各グループの発表内容（電子黒板）

「とびだせ！町のたんけんたい」スライド内容	
伝えたい場所	伝えたいことから
A	白パイは何台あるのか 紹介
B	拳銃を使うときは、どんなとき
C	池上警察署
D	白パイに乗ったこと（感想） 池上警察署には何人はたらいているのか 池上警察署で働いている人は 拳銃を使うときは
E	池上図書館の席 子供向けの本が何冊あるか
F	池上図書館
G	自動貸出機 対面朗読室 子供向けの本
H	席数はどれくらい 子供向けの本は何冊

各グループの発表内容（掲示物）



板書

プレゼンテーションの様子①



スライドの見せ方

プレゼンテーションの様子②

プレゼンテーションの様子③

《中学年分科会》

第3学年 国語科 学習指導案（創造的な資質・能力の素地の育成）

日 時 令和6年12月11日 5校時

13:30～14:15

対 象 第3学年4組 32名

1 単元名 「わたしの町のよいところ」（10時間扱い）

2 単元目標

◎書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。（思B(1)オ）

○考えとそれを支える理由について理解することができる。（知(2)ア）

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①文章を書く目的を理解している。	①書こうとしたことが、自分の考えとその理由の組み立てを中心に、明確になっている。	①町のよさを紹介する題材を選んだり文章を書いたりしようとしている。
②考えとそれを支える理由について理解している。	②①を中心に、文章に対する感想や意見を伝え合っている。	②積極的に文章に対する感想や意見を伝え合っている。
③紹介する文章の組み立てを理解している。	③①を視点に、自分の文章のよいところを見つけている。	③自分の文章のよいところを見付けようとしている。
④タブレットで、ピントを合わせる等して構図を考えた写真撮影ができる。	④文章に適切な写真を撮影している。	④町のよさをより分かりやすく紹介するために、タブレットを活用しようとしている。

4 単元について

(1) 指導内容

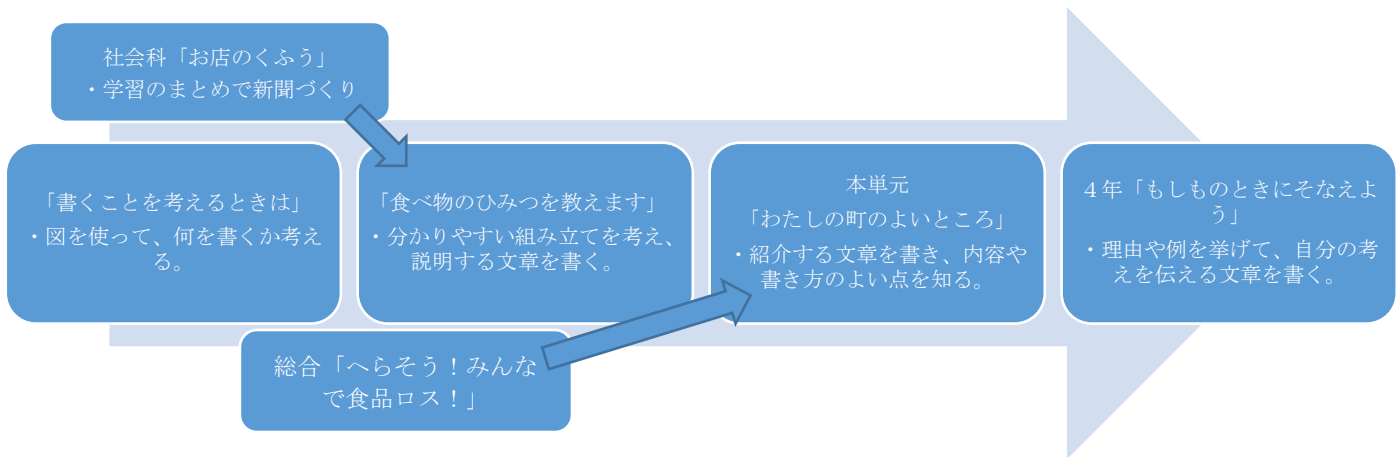
本単元で大切なことは、どのような観点で書かれた文章に対して感想を伝え合うのかを明確にすることである。紹介したい場所や物がはっきりとわかるか。紹介したい理由がその場所やもののよいところにつながっているか。「はじめ」「中」「終わり」のまとまりに分けて文章が組み立てられているか。内容と書き方の両面から感想を伝え合わせたい。その上で、最終的に目指したいのは、自分の文章のよいところを見つける姿である。友達からよい点や分かりやすいところを伝えてもらい、自分の文章に自信をもつとともに、そのよさを今後の書くことに生かしていこうとする姿勢を育みたい。

(2) 創造的な資質・能力を重点的に育成する単元として設定した理由

本単元では、紹介したいものを決めて文章に書く活動を通じて、既習事項や収集した情報、多様な考えを整理して問題の解決策を考える力を身に付けることができるようにする。また、自分の町のよさを紹介する文章を書く活動を通して、“おおたの未来づくり”の地域の創生や、地域の取り組みの提案を学習することにつながる考える。

5 児童の実態

本単元にかかる学習の流れ

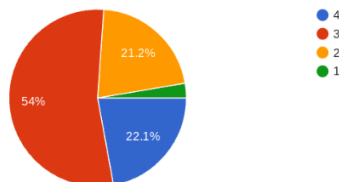


事前アンケートより

あなたは、もくてきにに合わせてタブレットや本などを使って、ひつようなじょうほうをじゅうぶんにあつめることができますか？

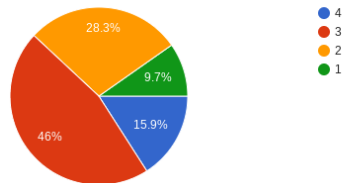
【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】

113 件の回答



あなたは、あいてによりよくつたえるために、ぶんしょうやスライド、しんぶん、プレゼンテーションなどのつくりにかたやつたえかたにくふうをすることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】

113 件の回答



事前アンケートによると、「目的に合わせてタブレットや本などを使って、必要な情報を十分に集めることができる」と答えた児童が約 76% いる。情報を集めることには慣れているが、集めた情報を整理することに課題がある。思考ツールを活用することで、情報や考えを整理できるようにする。

また、「相手にによりよく伝えるために、文章やスライド、新聞、プレゼンテーションなどの作り方を工夫することができる」と答えた児童は、約 60% いる。相手に伝えるための資料を作成することに課題を感じている児童も多い。ICT を活用して、よりよい資料の作成方法を知ることができるようにする。

6 創造的な資質・能力の素地を育成する視点

紹介したいものを決めて文章にする活動を通じて、既習事項や収集した情報、多様な考えを整理して問題の解決策を考える力を身に付けることができるようにする。

7 創造的な資質・能力の素地を育成するための手立て

(1) 思考ツールの活用

- ・ウェビングマップを活用することで、自分の考えを多様化できるようにする。
- ・本時において、ステップチャートを活用することで、多様化させた自分の考えを目的に応じて整理できるようにする。

(2) ICT 等の活用

- ・紹介する文章に写真を取り入れることで、文章に合った適切な写真を選ぶことができるようにする。
- ・NHK for School の動画を見せることで、写真撮影の際に気を付けるべきことを身に付けさせる。

「しまった！～情報活用スキルアップ～『調べる 写真撮影』」

「アッ！とメディア～@media～『事実を写している？～写真～』」

「プロのプロセス『ポスターの作り方-scene08-』」

8 指導計画

次	時	○主な学習活動 ★創造的な資質・能力の素地を育成するための手立て	◆評価規準 【観点】(方法)
第1次	1	①自分の住む町には、どのようなものがあるかを想起する。 ・児童から出た意見は板書をして、可視化する。 ○学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・「問いをもとう」で教材を自分事に引きつけ、児童の学習への意欲を引き出す。	【知】① (発言・ノート)
第2次	2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 (本 時) ・ 6 ・ 7 ・ 8	②紹介したいものとその理由を、図を使って書き出し、書くことを選ぶ。 ・思いつく限り考えを広げて、書き込むようにさせる。 ★思考ツール「ウェビングマップ」を活用する。 ③教科書 P83「水野さんの組み立てメモ」を参考に、組み立てメモの書き方を学ぶ。 ・教科書 P84「水野さんが書いた、しょうかいする文章」と読み比べ、組み立てメモに書く内容を明らかにする。 ★思考ツール「ステップチャート」の活用の仕方について知る。 ○写真を入れてもよいことを知り、撮影のポイントを確認する。 ★NHK for School を活用する。 ④友達と図を見せ合って、助言し合う。 ・友達にもっと知りたいところや興味のある部分を聞き、話題を掘り下げるとともに、相手意識をもたせる。 ⑤組み立てメモを作る。 ・③の学習を生かしつつ、思考ツールを活用しメモを作らせる。 ★思考ツール「ステップチャート」を活用する。 ⑥教科書 P84「水野さんが書いた、しょうかいする文章」を読み、紹介する文章を書くときのポイントを確認する。 ・組み立てメモと紹介する文章のつながりに気付かせ、メモを基に文章が書けるようにする。 ⑦⑧紹介する文章を書く。 ・紹介したいものの説明と理由が、読み手に伝わりやすいように、段落の分け方や説明のしかたを考えさせる。 ・撮影した写真の入れる場所を考えさせる。 ★紹介する文章に写真を取り入れることで、文章に合った適切な写真を選ぶことができるようにする。	【知】② (ノート・発言) 【主】① (思考ツール) 【知】②③ (ノート・発言) 【主 ICT】④ (観察・データ) 【主】② (話し合い観察) 【思】① (思考ツール) 【知】③ (ノート・成果物) 【主】① (ノート) 【思】① 【知 ICT】④ 【思 ICT】④ (成果物)
第3次	9 ・ 10	⑨書いた文章を読み合い、感想を伝え合う。 ・教科書 P84 下段「感想をつたえ合うときは」「感想をつたえるとき言葉」を参考にして、「内容」「書き方」の二つの観点から感想を伝えるようにさせる。 ⑩学習を振り返る。 ・学習したことを自分の言葉で具体的にまとめさせることで、身に付いた力について自覚させる。	【思】② (ノート・発言) 【主】② (話し合い観察) 【主】③ (ノート・発言) 【思】③ (ノート)

9 本時の指導（全10時間中の第5時）

(1) 目標

ウェビングマップに書いた紹介したいものや理由を、ステップチャートに整理して書くことができる。

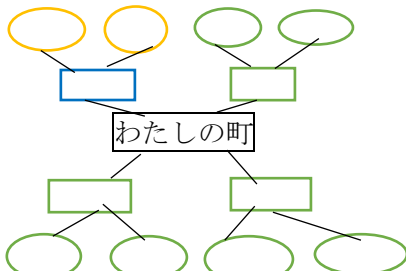
(2) 展開

	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	◆評価規準【観点】（方法） ★創造的な資質・能力の素地を育成するための手立て ※指導の留意事項
導入	○学習のゴール、学習計画、前時に取り組んだことや課題となっていたことを振り返る。 ○本時のめあてを設定する。	※できるだけ児童の言葉からめあてを設定する。
	組み立てメモをつくろう。	
	○本時の学習活動の流れを確認する。 ・ウェビングマップからステップチャートに内容をうつしていくこと。	※本時の活動の流れとステップチャートを電子黒板に掲示する。 ※町のよいところを紹介するための文章であることを確認する。
展開	○ウェビングマップに書いた内容を、組み立てに沿って整理する。 ・はじめに、「紹介するもの」をステップチャートに書き出す。 ・中に、「紹介したい理由」を整理し、書き出す。 ・終わりに、まとめやよびかけたいことを考える。 ○全体で共有する。 ○改めて続きに取り組む。	★ステップチャートを使い、情報の整理を容易にするとともに、情報を整理することのよさを実感させる。 ※同じテーマの児童でグループをつくることによって、整理が進まない児童に児童同士で支援し合えるようにする。 ※机間指導を行い、活動の状況を把握するとともに、中間共有の際にどの児童のメモを紹介するか決める。 ◆【思】①（思考ツールの内容）
振り返り	○簡単に自分の思考ツールの内容を振り返る。 ○次の時間に取り組むことを確認する。 ・紹介する文章を書く。	※よくできた◎、まあできた○、こまった△で振り返らせる。

10 板書計画

組み立てメモをつくろう

(ウェビングマップ)



早く完成した児童のチャートを掲示

はじめ (物と説明)	
中 (理由)	
おわり (まとめ)	

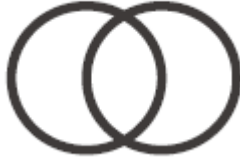


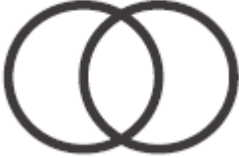
徳持 ステップチャート

年 組 氏名

は じ め	しょうかいするもの
	↓
	説明①
中	↓
	説明②
	↓
	紹介したい理由①
中	↓
	紹介したい理由②
	↓
	紹介したい理由③
中	↓
	紹介したい理由④
	↓
終 わ り	まとめ・よびかけ

考えるための技法と思考ツール一覧

学習指導要領解説に 例示されたもの	ツール名	形	できること
順序付ける	ステップチャート		順序を整理する。物事の見通しを立てる。
	座標軸 (Lチャート)		2つの軸で整理し位置付けを明確にする。
比較する	ベン図		共通点と相違点を見付ける。
	マトリクス表		関係の有無や関連度合いを示す。情報を整理する。
	座標軸 (Lチャート)		2つの軸で整理し位置付けを明確にする。
分類する	Xチャート (Yチャート)		複数の視点から捉える。
	マトリクス表		関係の有無や関連度合いを示す。情報を整理する。

関連付ける	イメージマップ (ウェビングマップ)		アイデアを出す。
	ベン図		共有点と相違点を見付ける。
多面的に見る・ 多角的に見る	Xチャート (Yチャート)		複数の視点から捉える。
	マトリクス表		関係の有無や関連度合いを示す。情報を整理する。
	バタフライチャート		
	くま手チャート		対象のもつ複数の性質に着目したり、対象を異なる視点から捉えたりする。
理由付ける (原因や根拠を見付ける)	クラゲチャート		理由を挙げて具体的にする。
見通す (結果を予想する)	キャンディチャート		予想する。仮定する。推論する。

見通す (結果を予想する)	YWT チャート		「やったこと」「わかったこと」「つぎにやりたいこと」等で自分の考えを整理する。
	ステップチャート		順序を整理する。物事の見通しを立てる。
具体化する (個別化する, 分解する)	フィッシュボーン図		事象の要因を探る。
	クラゲチャート		理由を挙げて具体的にする。
	ピラミッドチャート (上から下)		対象に関する上位概念や規則に当てはまる具体例を挙げたり、対象を構成する下位概念や要素に分けたりする。
	くま手チャート		対象のもつ複数の性質に着目したり、対象を異なる視点から捉えたりする。
抽象化する (一般化する, 統合する)	フィッシュボーン図		事象の要因を探る。
	クラゲチャート		理由を挙げて具体的にする。

抽象化する (一般化する, 統合する)	ピラミッドチャート (下から上)		対象に関する上位概念や法則を挙げたり、複数の対象を一つにまとめたりする。
	くま手チャート		対象のもつ複数の性質に着目したり、対象を異なる視点から捉えたりする。
構造化する	フィッシュボーン図		事象の要因を探る。
	YWT チャート		「やったこと」「わかったこと」「つぎにやりたいこと」等で自分の考えを整理する。
	ピラミッドチャート		考えを構造的（網構造・層構造など）に整理する。
	同心円チャート		中心概念から考えを広げたり、円構造で仲間分けしたりする。

引用：「ロイロノート・スクール シンキングツールを学ぶ」 関西大学総合情報学部教授 黒上 晴夫 (株)LoiLo

12 研究協議会

(1) 授業者自評

- ・理由の順番を付箋にしたから、入れ替えて検討する時間を声掛けすればよかった。
- ・授業観察の視点に ICT を入れたが、本時ではなかった。
- ・考えることが苦手な児童も完成させることができたのは、ステップチャートがあったからではないか。
- ・未来づくり科の素地というより、国語ということを念頭において授業をした。

(2) 研究協議

ア 成果

- ・ステップチャートを使って児童が伝えたいことを整理していた。付箋を使用して紹介順を考えやすく工夫していた。
- ・電子黒板の機能をたくさん使っていてすごかった。

イ 質問

- ・紹介したい理由がはっきりしていない児童への手立ては何を考えているか。
→作文指導については未定。ウェビングマップが充実していれば書けると思うが、そうじゃない児童はどうしたらいいのか検討中。
- ・作文について。ウェビングマップの青丸が4つだったのはなぜか。
→ウェビングマップをそんなに書き慣れていないから、支援として4つ。書ける子は増やして書いている。
- ・組み立てメモの中に文章を書いていく児童が多かったのに、コンパクトに書けていた。どういう手立てがあったのか。今後文章化するときはどうしていくのか。
→構成をしっかりさせていけば、この先書きたいことが増えていくと思う。そうじゃない児童については今後勉強していく。
- ・店の紹介文になっている児童がいた。私の町の紹介が、国語なのか社会なのか。
→自分の文章の良いところを考えるのが国語科としての重点。本時は未来づくり科としての重点。
- ・短い言葉でまとめるのがいいのか、文で書いたほうがいいのか。
→短い言葉で書くのがねらいだった。長い文で書いている児童がいることも想定内だが、そこに重きをおいていない。

ウ 課題

- ・青丸1つに対して広げていくほうがよかったのではないか。どれを書いたらいいか、ウェビングマップに出ている細かい部分について話し合いを深めていくほうがよかったのでは。
- ・グループでの活動をどこまで生かすことができたのか。書けない子へのアドバイスが意図にあったのはわかるが、取捨選択について話し合えたらよかった。そこまでいけている班はあまりなかった。
→事前授業で早く終わることはわかっていたが、想像以上に早く終わった。ウェビングマップが4つ以上書けている児童は少なく、取捨選択は児童の実態にあっていないと思う。
- ・ウェビングマップからステップチャートに書き写しているだけで、単純作業になってしまっている。個人が経験したことをもとに説明できるとよかったのでは。

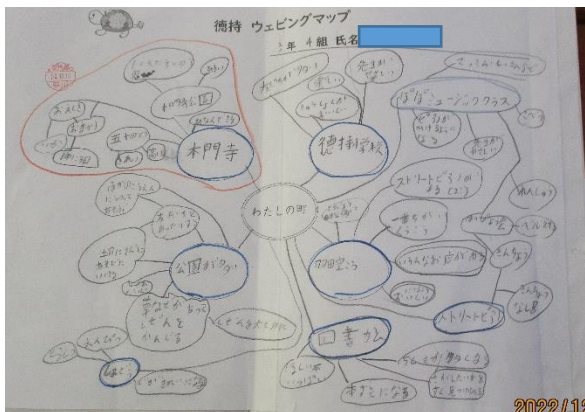
(3) 講師指導講評

- ・研究授業の目的：学び続ける教師として、授業改善を図るため。研究授業を通して、徳持が大切にしていることを共通理解していく。
- ・明日の授業でこういう児童がいるのではないかと意識して授業を組んでいくことが大切。
- ・「大学はどこにあるのか」と概念を問われた時に、何を答えるのか。授業の作文「誰かに渡す」って誰に？
- ・見ているけど見ていないものがたくさんある。視点を与えられないと気付かないものがある。教科の見方・考え方を明確にしなければならない。家でも話したくなってしまうような授業を。
- ・今日の授業で授業者は肯定的な評価をしていたのがよかった。授業規律もしっかりしていた。
- ・教員は求めている解答がある。果たしてそれはどうなのだろう。正解か不正解かを求める問いをしているのか、広がりのある問いをしているのか。それによって子どもたちに何を問いかけるのかが違う。
- ・発問と質問の使い分け
 - 発問：解答の後の切り替えしが正解か不正解か。発問→応答→評価
 - 質問：解答の後、お礼。
- ・教員がよく使う3つの言葉「ちゃんと」「しっかり」「考えて」
- ・今日のめあて「組み立てメモを考えよう」→何を考える？
 - 目標に基づくめあてであるべき。ウェビングマップをもとに組み立てメモをステップチャートに整理しようなど。めあてに基づく評価。
- ・評価規準と基準について
 - 規準：何ではかるのか。評価の物差し
 - 基準：レベルの判定ライン。物差しのめもり
- ・子「普段は縦書きなのに今日は横書きなんだ」←普段からめあてを書いている証拠
- ・学習の系統性として、毎時間めあてを書くようにする。前の先生と同じことができると安心する。
- ・子どもたちがさっと班になり、話し合う。いつも行っているのがうかがえる。
- ・「いいね」のポイントが何なのか。教科のねらいにせまった価値づけ。具体的に。
- ・「次行ってみよう」←本当に次にいってもいいのか。関係づくりの評価ならいいが…。
- ・町の範囲。羽田空港も私たちの町に入るのか。コストコは川崎にあるが、私たちの町に入るのか。青丸に入るのは場所。そのあと特徴を書かせると、事実と意見が分けられるのでは。地図を出して、どの場所を出したいかを問うといいのでは。視点が何かをはっきりさせる。
- ・先生のお手本「田畑が多い」があった。これは意見なので、主観になっている。田畑ならいいが…。
- ・学習過程のメタ化：習得、活用、探究。発散と収束（順序性、分類、構造化など）内化→外化→内化（外に考えを出すために自分で考える→外に発表する→自分で振り返る）
- ・足場づくり
- ・授業者が教えたこと、学習者が学びたいこと
- ・逆向き設計論（バックワードデザイン）：何かをするときに、そのために何をするか考える。本時の授業でも、誰に説明して誰に読んでもらうのかによって、子どもたちの書きっぷりも変わったと思う。最後のゴールを明確にすることは大切。

13 成果と課題

	成果	課題
教師	・素地の育成をどの教科どの単元で実施していくかを考えたことで、大田区が示す創造的な資質・能力の素地について知ることができた。 ・思考ツールを活用していく視点がもてた。	・情報活用や素地の育成に当たって系統性を検討していく必要あり。 ・素地を育成していくにあたり、どの学年で何をどの程度指導していくのか明確にしていく必要性を感じた。 ・総合的な学習の時間を学校全体として、より充実させていく必要がある。
児童	・イメージマップとステップチャートを活用して文章を構成することは、支援を要する児童に対しても有効であった。 ・より意見を出したい、順序を考えたい、という意欲づけにも効果的であった。 ・教員が、おおたの未来づくり科や創造的な資質・能力の素地を意識しながら授業をすることで、こどもたちの地域への愛着や学習に対する肯定的な捉えが向上した。	・より多様な思考ツールを活用していく中で、自ら課題に対して活用する思考ツールを選ぶことができるように指導していきたい。 ・相手意識や分かりやすさに焦点化して、プレゼンテーション等の成果物を作成できるように支援していく。

14 単元及び授業の様子



児童のウェビングマップ（イメージマップ）

似たテーマの小集団で助言し合う様子



ウェビングマップからステップチャートを記入①

ウェビングマップからステップチャートを記入②

《高学年分科会》

第5学年 教科「おおたの未来づくり」学習指導案

日 時 令和6年10月22日 5校時

13:40～14:25

対 象 第5学年1組 33名

1 単元名 「プロジェクトT～挑戦者たち～」

【B 地域の創生 カ：提案 キ：実践 ク：イベント参画 複合型】（35時間扱い）

2 単元目標

池上徳持南町会（以下、「町会」とする）と連携し、町会からの願いを叶えるために提案したり、実践したりする学習活動を通して、

- ・地域と町会の方々と連携し、それぞれの取組とそれに当たっての願いや課題を捉え、課題に合った解決策を実現させるための知識・技能を身に付ける。
- ・課題を解決するために、情報を収集、整理、分析してアイデアを練り上げて実践したり、発信したりすることができる。
- ・様々な人々と関わりをもち、よりよい町づくりのために、試行錯誤を繰り返しながら自ら主体的に取り組もうとする態度を養う。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①町会の広報・入会・活動参加がコンセプトであり、町会の活動等の現状を理解している。	①町会への調査を通して、町会への広報・入会・活動参加のために、自分たちにできることについて考えている。	①町会の広報・入会・活動参加のために、自分と他者のよさを生かして、協働しながら主体的に企画を考えようとしている。
②町会の方々への取材の仕方や課題解決に向けた資料作成などの基本的な知識・技能を身に付けている。	②町会への取材を基に、課題解決案を考えたり、資料を作成したりと、町会への広報・入会・活動参加につながる取組について効果等もふまえながら企画している。	②町会への取材や解決策について、すすんで情報を収集したり、アイデアを出し合ったりし、協働しながら粘り強く取り組んでいる。
③作成した課題解決に向けた資料等について、発信していくための方法に関する知識・技能を身に付けている。	③町会の思いやアドバイスを生かして改善点を捉え、相手意識をもって試行錯誤しながらよりよい解決策を発信している。	③町会の方や地域の方からの評価を受け止めて、取組をふり返し、価値や改善点を見出そうとしている。
④ICTを活用した情報収集・スライド作成・調査に関する知識・技能を身に付けている。	④よりよい解決策を提案するために ICT を効果的に活用している。	④モラルや他者意識をもって ICT を活用しようとしている。 ⑤ICTを他者との協働、解決策の改善や推進のために活用しようとしている。

4 単元について

(1) 単元設定の理由

児童に目標とする力を身に付けさせるために重要なことは、児童が社会事象に興味関心をもつことであると考えた。児童が興味関心をもつには、児童の実態を鑑みると、より身近で、切実感がもてるものであると考えられる。そこで、児童にとって身近な学区の町会に関わる内容を取り扱うことにした。本学級には、町会主催の行事等に参加したことがある児童が多い。しかし、児童や保護者にとって、それらの催しが町会主催であることを理解していない場合が多い。また、この町会を運営する方々にも高齢化の波が押し寄せ、後を継ぐ人がいないといった課題がある。町会の存在意義や課題を捉えて切実な問題であることに気付くことで、児童が主体的に解決案を考え、実践させ、目標とする力を身に付けられるのではないかと考えた。また、この学習で児童に目標とする力を獲得させるだけでなく、社会参画への基礎を培っていくことをねらう。

(2) 授業パートナーの連携

本校学区の池上徳持南町会を授業パートナーとし、連携して指導する。町会副会長は、学校運営協議会の会長も兼任しており、全校朝会等を通して児童とは面識がある。町会は「住民のより良い生活」を目指しているが、町会に入会している人は古くからの住人が主であり、マンションが多い現在、新しい入会者や認知度が低いことを課題として挙げている。副会長からの話を聞いて、町会の運営や課題を知り、切実な問題であることを認識することができた。そこで、「よりよい徳持の町づくり」を目指し、本校5年の児童とともに、町会をアピールする方法を考え、実践していくことにした。副会長には、学習過程の様々な場面で助言をもらい、児童の活動を深化させる役割も担ってもらう。

(3) 学習過程

本単元では児童に、「豊かな発想力で解決案を考え、提案し、実践する」力を身に付けさせたい。

「実社会で活躍する人との出会い等」では、町会から加入人数を増やしてほしいと依頼をいただく。

「コンセプト」では、必要な情報収集や調査に取り組むことで、課題を解決するための知識・技能を重点的に指導する。

「デザイン」では、社会の流れに合わせた町会運営ができるような解決策を考える取り組みを行うことで、相手意識をもって提案できる思考・判断・表現を重点的に指導する。

「クリエイション」では、町会の方からのフィードバックを受けてブラッシュアップに取り組むことで、様々な人からの評価を受け止める等の主体的に学習に取り組む態度を重点的に指導する。

(4) 本単元で扱う教科等の内容及び本単元に充てる授業時数

教科等名	本単元で扱う内容	授業時数
国 語	話すこと・聞くこと・書くこと	9 時間
社 会	情報産業	3 時間
算 数	データの活用	3 時間
図画工作	表現	3 時間
家 庭	家族・家庭生活・消費生活・環境	2 時間
総合的な学習の時間	課題設定・情報整理・分析・表現	1 5 時間

5 児童の実態

本学級の児童は、事前アンケートによると「池上や徳持の地域が好き」と答えた児童は8割程度だが、「町のことをよく知っていると思うか」という質問に対しては半分以上の児童が「ややそう思う」や「あまり思わない」と答えた。また、目的に合わせてインターネットや本を使って必要な情報を集めることができると答えた児童は9割程度いた。これらのことから、地域のことは好きだが知らないことも多くあり、地域の一員としての意識が低いと考える。授業パートナーと協力して、当事者意識をもって試行錯誤できるように指導する。

6 指導の手だて

(1) 課題に応じたグループ編成

少人数のグループで協働して活動する計画を立てることで、自分や他者のよさを生かしながら地域創生に取り組むことができると考えた。具体的に試行錯誤しながら自分のものの見方を広げ、新しい考えを見出すことができるようにするには、3人～5人が適切と考えてグループを構成した。

(2) 授業パートナーとの事前打ち合わせ

7月に打合せを進め、授業に参画してもらうスケジュール調整をした。児童に当事者意識をもたせるために一学期に講演をしていただいた。授業パートナーの願いと評価規準にずれが生じないために、児童がプレゼンをする前後、フィードバックをもらう前にも打合せを行う。また、クリエイションで授業パートナーに2回関わってもらうことでよりよい解決策を考えられるようにする。

(3) ICT等の活用

チラシ作りやポスター作り、動画編集など、町会の活動を伝えるためにICTを活用した。また、解決策の構想を練る時にはGoogleスライドを活用して、各グループに自分たちの考えを表現させる。また、NHK for schoolの「プロのプロセス」や他の動画教材を使い、自分たちの進度に合わせて必要な情報や知識を得られるようにする。

(4) 思考ツールの活用

児童が出した案を比較したり、分類したりしやすくするために短冊や付箋に書いて可視化する。また、見通しをもって計画的に進められるようにワークシートを使用する。

7 指導計画

時	学習過程	○主な学習活動 ★指導の手だて	◆評価規準【観点】(方法)
1 ～ 6	コン セ プ ト	○町会副会長から、町会の活動内容や課題について聞く。 ★授業パートナーの方から町会の広報、活動参加、入会につながる解決案についての依頼を受ける。 ★授業パートナーの講話を通して、取り組んでいることや課題として感じていることを捉える。 ○コンセプトを設定するために必要な情報収集や調査を行う。 ★町会 HP 検索、Forms を活用した本校児童へのアンケート調査など。 ○収集した情報を整理してコンセプトを設定する。 ★短冊を活用したブレインストーミング	【知】① (ワークシート、観察) 【知】② (ワークシート、観察) 【知 ICT】④ (ワークシート、観察) 【思】① (観察) 【主】① (ワークシート、観察)
7 ～ 15	デ ザ イ ン	○収集した情報をもとに、自分たちが取り組む実践を検討する。 ・こども町会を作って、親に町会の楽しさを伝えよう。 ・南町会の良さや活動内容を SNS で紹介しよう。 ・新聞やポスターで周知を図ろう。 ・ご当地キャラクターを作ろう。 ★学習の見通しとゴールイメージをもたせるとともに、実践がどんな効果をもたらすか、依頼された課題解決との関連性を考えさせる。 ○各グループで実践の構想を考える。 ・こども町会をどのように運営するとよいかな。 ・どのような映像を撮って紹介しようかな。 ・新聞やポスターの内容はどうしよう。 ・町会の要素を取り入れたキャラクターにしよう。 ★NHK for school「プロのプロセス」や「しまった！～情報活用スキルアップ～」などの動画を用いて、計画の立て方やプレゼンテーションの作り方について指導する。 ★各グループと連携できることに気付かせ、内容に幅をもたせる。 ○考えた内容をプレゼンする準備をする。 ★スライドを使って作成する。 ★国語の既習事項を用いて話す内容を考えさせる。	【知 ICT】④ (観察) 【思】② (ワークシート、観察) 【主】② (ワークシート、観察) 【思 ICT】④ (観察) 【思】② (ワークシート、観察) 【主】② (ワークシート、観察、発言) 【主 ICT】④ (観察、成果物) 【知】③ (ワークシート、観察) 【主】② (ワークシート、観察)
16 ～ 35 (本 時)	ク リ エ イ シ ョ ン	○授業パートナーに考えた内容をプレゼンする。 ★他のグループの発表を聞き、アドバイスをし合う。 ○フィードバックを受けて、よりよい解決策を考える。 ★練り直す過程で出てくる細かな質問にすぐに答えられるよう、授業パートナーに授業参加してもらう。 ○授業パートナーに再度プレゼンをする。 ○学習発表会での広報に向け、案を出し合う。 ○学習発表会で児童・保護者に周知を図る。 ○決まった解決策を実行する。 ★これまで考えてきたことを形にするために役割を決めて、計画的に進められるようにする。 ○実行したことへの評価をもらい、自分たちの活動を振り返る。	【知】③ (成果物、観察) 【思】③ (付箋内容、観察) 【主】③ (ワークシート、発言) 【主 ICT】⑤ (発言、観察) 【主】② (成果物、観察) 【思】② (観察) 【主】② (観察) 【知】③ (観察) 【主 ICT】④ (観察、成果物) 【主】③ (ワークシート、観察、発言)

8 本時の指導（全35時間中の第17時）

（1）目標

町会の方からフィードバックを受けることを通して、よりよい解決策を考える。

（2）展開

	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	◆評価規準【観点】（方法） ★指導の手だて ※指導上の留意点
導入	○前時までに取り組んだこと、学習計画、学習のゴールを振り返る。 ○本時のめあて、学習活動の流れを確認する。 フィードバックを受けて、よりよい案を考えよう。	※学習の見通しがもてるように、学習計画を掲示しながら確認する。
展開	○町会の方からフィードバックを受ける。 ・この案が通ってよかったから、もっとこうしたらどうかな。 ・この案はうまくいきそうにないから別の案がいいかも。 ・他のグループの考えがよかったから少し真似してみよう。 ○フィードバックをもとに、解決案を改善するために話し合う。 ・町会の方の思いに応えられるようにこの活動をもっとこうしてみよう。 ・ここがよく分からないから町会の方に聞いてみよう。 ○話し合ったことをまとめ、グループでの解決策を決定する。 ・フィードバックを受けて、ここが改善できたね。 ・この解決策でいってみよう。 ・次、町会の方に話すときの説得力が増したね。	※フィードバックの内容を付箋にメモさせることで、思考の整理をしながら話し合いができるようにする。 ※他のグループがどのようなフィードバックをもらっているのか、比べて聞くようにさせる。 ★話し合いの中で出てきた質問にすぐに答えられるよう、授業パートナーに参加してもらう。 ※話し合っている内容を記録できるようにする。 ※検討していることが町会の方の願いから離れていないか随時声をかける。 ◆【思】③（付箋の内容・話し合い活動の観察） ◆【主 ICT】⑤（発言、観察）
振り返り	○本時で話し合ったことを全体で共有する。 ○めあてを達成するために努力した点や工夫した点、次回に生かしたいことを振り返る。	※発想がより豊かになるように、全体で本時の考えたことを共有させる。 ※解決策の実現に向けて見通しを立てさせる。 ◆【主】③（ワークシート、発言）

9 第2回おおたの未来づくりエリア協議会

10月22日（火）おおたの未来づくりエリア協議会 座談会記録 5学年

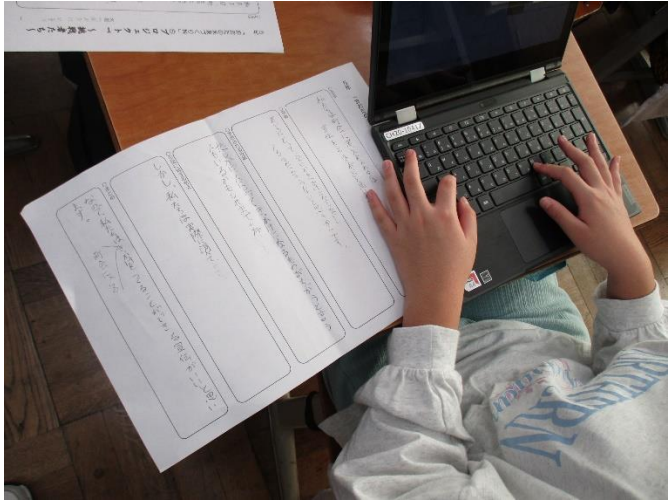
発言者	内容
雪谷小	未来づくりではなくて、ものづくりになってしまわないか？
徳持小	地域を盛り上げる手段（アプローチ）であればよい。
池上小	目的があれば、地域創生である。
久原小	ものづくりと地域創生を同時進行（両輪）で行っている。いずれにしても、目的が重要。
雪谷小	6年生はソースのみの試食？
徳持小	ソースのみ。
久原小	地域理解、情報、表現、どこの能力を発揮させたいのか。
徳持小	情報、図工表現。
久原小	5年授業の範囲内？
徳持小	情報は社会科と関連。
久原小	久原は米づくりをしている。新聞づくりは表現。
池上小	全員に同じ力をつける必要は？
久原小	表現など、全員が発揮できることが求められる。評価は全員がやれること。
池上小	テーマは同じ、手段は別。ポスターやユーチューブなど道筋が違ってても、目的は同じ。
久原小	こどもが選択できる状態になっていないとアウト。
徳持小	こどもは色々なところに反応。表記の仕方にとらわれなくても。
久原小	計画の変更は不可？
池上小	不可。
久原小	計画は広くとりたい。発揮できそうなものを書く。

池上小	呑川について取り組んでいる。
徳持小	評価はワークシート、観察、スライドなどで評価する。
池上小	未来づくりの評価はどこまできっちりするべきか
久原小	手引を参照し、大きく変えなくてよい。総合と似ている。
小池小	評価は総合と同じ。
久原小	総合の中でもよい。（←オンライン研修より）
池上小	単元名「プロジェクト T」は素敵。こども達から？ 次年度の 5 年生に引き継ぐ？
徳持小	プロジェクト X より T（徳持）次年度の 5 年生に引き継ぐ予定。
雪谷小	ソースはコストの問題もある。
池上小	池上小も同じ取り組みをしている。期間限定で商品化が確定している。
雪谷小	企業と学校のすり合わせ必要。「地域の願い」と「教科として」 町会の願い 100%か？落とし所を探りたい。
徳持小	SNS やイベントはどこまで許容されるか？ 最初はこどもの願い 100%から始めても、こどもは無理なことは、自然と消していく。 大人も先読みして、土壌を作るようにしている。

10 成果と課題

	成果	課題
教師	・地域とのつながりができた。	・地域の方との調整が難しい。
児童	・地域について関心をもつようになった。 ・相手意識をもって、自分の考えを分かりやすく伝えるようになった。 ・スライド作成の力がついた。 ・説得力のある話し方が身についた。	・意欲を持続させるのが難しい。 ・町会活動に対してのイメージが湧かない。

11 単元及び授業の様子

企画内容の話合い	企画提案の原稿づくり①
 企画提案の原稿づくり②	スライドづくり
プレゼンテーションの様子①	プレゼンテーションの様子②

第6学年 教科「おおたの未来づくり」学習指導案

日 時 令和6年10月22日 5校時

13:40～14:25

対 象 第6学年2組 36名

1 単元名 「キッチンカー『とくもち号』」 【A ものづくり ア：新商品の企画提案 型】（35時間扱い）

2 単元目標

(株)ワークストア・トウキョウドゥ様（以下、「WS・TokyoDo」とする）と連携し、オリジナルのホットドッグソースを実際の販売に向けて提案したり、それを広報したりする学習活動を通して、

- ・食販業界の仕事に対する思いや売上が伸びるためのポイントを知り、それらを実行するための ICT 等の技能を身に付ける。
- ・試行錯誤して、多くの人に共感されたり売上が上がったりするソースを検討し、それらについて根拠や自分の思いをのせて伝えたり、広く宣伝することができる。
- ・相手意識（授業パートナー・宣伝する対象）をもって活動し、自分のよさを生かしながら主体的に取り組み、よりよい成果を上げようとする態度を養う。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①売れるホットドッグのソースの提案をすることがコンセプトであり、既存のソースについて理解している。	①売れるホットドッグソースにするために必要な情報を考え、試行錯誤しながら、ソースについて考えている。	①WS・TokyoDo や友達との対話を大切にし、進んで情報を収集したり、アイデアを出し合ったりして協働的に取り組もうとしている。
②ソースをデザインしたり、なぜそのソースにしたかを発表したりするために必要な知識・技能を身に付けている。	②売上のデータ等を根拠にして、試行錯誤しながらソースを設計したり、そのプレゼンテーション等を行ったりしている。	②主体的に情報収集する等、よりよいソースにするために、粘り強く取り組もうとしている。
③より販売するためにソースを宣伝するための知識・技能を身に付けている。	③ソースの宣伝に向けて、効果的な方法を考えたり、相手意識に立って発信したりしている。	③進んでアイデアを出し合い、持ち味を生かし協働しながら、宣伝に取り組もうとしている。
④スライドを活用して、企画したソースの紹介ができる。	④宣伝するための方法やアプリケーションを考えながら、ICT を効果的に活用している。	④ICT を他者との協働、企画の改善や推進のために積極的に活用しようとしている。
⑤宣伝するための動画やポスター等を作成することができる。		

4 単元について

(1) 単元設定の理由

本校では、今年度の「おおたの未来づくり」の全体計画として、5年生で地域の創生に関わる授業を35時間、6年生でものづくりに関わる授業を35時間、という設定をした。ものづくりに関わる授業を実施するに当たって、企画・制作したものを提案するだけでなく、実際に販売できる単元設定を念頭に計画を行った。自分たちの考えたものが実際に世に出ることで、こどもたちは実学として、社会で活躍している人々がどのような考えで、どのような取り組みをしているのかを身をもって学び、社会の仕組みの一端を理解することができる考えた。企画・提案型の授業になると、最終的に自分たちの実践がどのようなになったか見えづらく、本校の児童においては、主体的に学ぶ意欲が低下してしまうとも考えた。

本校の周辺は住宅地になっており、工場も点在するものの多摩川周辺や海沿いと比べると少ない。逆に、池上駅や本門寺周辺を中心とした商業は、先日の御会式も含めてとても賑わいを見せており児童も多く参加していた。以上を鑑みて、食品に関連する企画・提案・広報・販売までの一連の社会活動を単元として設定することにした。

(2) 授業パートナーの連携

WS・TokyoDo は、大田区東矢口三丁目 30 番 14 号を本社所在地とする、イベント向けに特化させたオリジナルフードサービスの企画・制作・運営・販売を事業とする株式会社である。今回は、大田区教育委員会指導課からの紹介を受けて、本単元の授業パートナーとして連携していただくことになった。WS・TokyoDo は、その事業の一環として、大田区中央八丁目 2 番 20 号で CENTRAL 8 GARAGE というホットドッグ店を運営しており、毎週火曜の朝 5 時 30 分から 8 時 30 分まで（売切次第終了）で営業している。こちらのお店で、本単元の最終目標である、児童が提案したソースを実際に販売していただくことになる。

上記店舗は、本校の児童にとって足を運びやすい立地となっており、自分たちが検討を重ねてきたものがどのように実際の社会で形となり、またどのような反響があるのかを実際を目で確かめることもできることから、本単元でねらっている実学を体験しやすいと考えた。

また、WS・TokyoDo は、日本最大の音楽フェスティバルのひとつ「SUMMER SONIC」の飲食出店管理事務局をはじめ、全国各地の様々なイベントにおける飲食エリアの企画・運営を行っていたり、様々な企業やプロジェクトと連動し、コラボレーションフードの企画・制作・販売にも携わっていたり、その広い見識から児童の豊かな発想に多角的な視点を与えてくださるのに最適な企業様であると考え、授業パートナーとして決定した。

(3) 学習過程

本単元は、「キッチンカー『とくもち号』」にと題して、ホットドッグのソースを作り、実際のお店で販売してもらうことを目指す。

「実社会で活躍する人との出会い等」では、WS・TokyoDo からソース作りの依頼をいただく。

「コンセプト」では、依頼に応えるために、総合等で学んできたことを振り返りながら、自分達でどのようなソースがあるのかを知り、グループでソースを作っていくことを決める。企業の思いや売れるソースにどのような要素があるのかを知る等の知識・技能の面を重点的に指導する。

「デザイン」では、それぞれの班でのソースを決めるために、アンケート調査等を行い、情報収集したり、アドバイスをもらったりしながら試行錯誤し、ソースを考える。どうしてそのようなソースを検討したのかを伝えたりする思考・判断・表現について重点的に指導する。

「クリエイション」では、クラスで決まったソースを実際のホットドッグにして学習発表会で売ってもらう。同時に、宣伝方法を考えてそれぞれの考えていた方法で宣伝できるものを作成する。自分の得意を生かしながら学級で協力して宣伝を行う等の主体的に学習に取り組む態度を重点的に指導する。

(4) 本単元で扱う教科等の内容及び本単元に充てる授業時数

教科等名	本単元で扱う内容	授業時数
国 語	話すこと・聞くこと・書くこと	9 時間
算 数	データの活用	5 時間
図画工作	表現	3 時間
家 庭	家族・家庭生活・消費生活・環境	3 時間
総合的な学習の時間	課題設定・情報整理・分析・表現	1 5 時間

5 児童の実態

第 6 学年児童 106 名（1 組 35 名、2 組 36 名、3 組 35 名）は、興味をもったことには意欲的に学習に取り組める児童が多い。WS・TokyoDo との初回連携授業を 1 学期終了間際に行い、毎週火曜日の営業時間を知った子どもたちは、夏休みの早朝、友達を誘って食べにいく等、興味をもつきっかけになった様子であった。後日、企業様から多くの児童がお店に押し寄せたことを教えていただいた。一方で、興味がないことには意欲が低かったり、そもそも参加しようとしなかったりする児童も多い。

9 月に実施したアンケートでは、「自分自身の行動を自分で振り返ったり、身近な大人の人からの助言やアドバイスをもらったりした時、自分の生活や学習を生かして改善することができますか？」という質問に対して、約 7 割の児童はできると答えていた。また、「自分が考えた通りに、課題を完成させたり、図工の作品を仕上げたり、自分の作りたいものをつくりあげたりすることができますか？」という質問には約 9 割の児童ができると答えていた。自分の作りたいものを作り上げることができる児童が多く、助言をもらいながら改善する力が付けば、ものづくりにもっと興味が出てくるのではないかと考えた。

今年度、どの教科でもグループ活動を積極的に取り入れ学習活動を進めているが、中にはどうしても自分の意見に固執してしまい合意形成が難しい児童もいる。また、話し合い活動の中で意見をまとめる場面で、感覚や感情論のみで物事を決定する場面が散見され、根拠を基に自分の意見を補強することができない様子が見て取れた。

6 指導の手だて

(1) 課題に応じたグループ編成

少人数のグループで協働して活動する計画を立てることで、自分や他者のよさを生かしながらものづくりに取り組むことができると考えた。具体的に試行錯誤しながら自分のものの見方を広げ、新しい考えを見出すことができるようにするには、5人～6人が適切と考えてグループを構成した。

(2) 授業パートナーとの事前打合せ

WS・TokyoDoとは7月に事前に打ち合わせを行い、オリエンテーションという形でソース作りの概要についてお話し頂いた。その際、10月までの流れを確認した。10月に各グループで作ったものを試食していただき、アドバイスをもらう。その後、宣伝方法等を確認し、11月30日に向けて連携をしていく。アンケートの結果にもあった通り、助言やアドバイスを改善できると答えている児童もいたが、難しいと感じている児童が3割いたことから、グループで話し合いながら、助言を改善できるようにした。

(3) ICT等の活用

ソースの種類を調べる際にタブレットを使用し、検索サイトを使用し、調べ学習を行った。各学級のグループで考えたソースはGoogleスライドを使用しクラスでプレゼンを行った。実際に学習発表会で販売する際は、Adobe ExpressやGoogle documentを使用し、A2版のポスター作製を行う。

(4) クラゲチャートの活用

クラゲチャートを使い、ソースを選んだ理由等を記入していくことで、ソースを選んだ根拠が明確になるようにする。根拠を基にすることで、他者にも伝わりやすいようなプレゼンテーション等が行えると考えた。

(5) 主体的に取り組みたくなるゴールの設定

実際にお店で、児童たちが考えたソースのうち、最もオリジナリティのあるソースを使った商品を販売してもらうこととした。

(6) 複数の小ゴールの設定

児童たちが継続して主体的に活動することができるよう、小ゴールを細かく設定した学習計画を組んだ。

①クラス試食会 ②クラス内コンペ ③学習発表会での宣伝 ④販売ソース決定 ⑤実際の宣伝・販売

(7) 企画部分の限定による学びの保証

ホットドッグのソーセージやパンなどの中身はそのままソースに限定することで、児童には幅を広げすぎず、考えることができるようにした。身近なソースをまずは試食し、調べ、徳持らしさのオリジナリティを考えることで新たなアイデアが生まれてくると考えた。

7 指導計画

時	学習過程	○主な学習活動 ★指導の手だて	◆評価規準【観点】(方法)
1 ～ 7	コン セ プ ト	○WS・TokyoDoの方から会社の概要や今回ソースを作ることへの話をいただく。 ★WS・TokyoDoの方からホットドッグのソース作りについての依頼を受ける。 ○ソース作りのコンセプトを設定するために必要な情報収集や調査を行う。 ★ブラウザ検索、情報共有、Formsを活用したアンケート調査	【主】①(観察) 【知】①(ワークシート、観察) 【思】①(ワークシート、観察) 【主 ICT】④(観察、成果物)
8 ～ 19	デ ザ イ ン	○個人でホットドッグに合うソースを考える。 ★ブラウザ検索を活用し調べる。 ○グループでホットドッグのソースを考える。 ★根拠に基づいた理由をしっかりと考えられるように指導する。 (例：●●対象のアンケートを取った結果が○○だからこのような結果であったため、このソースにした。等) ○ホットドッグのソースを実際に作りアドバイスをもらう。 ★WS・TokyoDoの方にアドバイスをもらえるように依頼する。 ○アドバイスを頂いた上での改善できることを考える。	【知】②(ワークシート、観察) 【思】②(観察) 【主】②(ワークシート、観察) 【主】②(観察、ワークシート) 【思】②(ワークシート)

(本時)		○班でアドバイスし改善したソースのプレゼンテーションを作る。 ○班で考えたソースをもう一度作り、発表をしながらみんなで試食する。 ○発表を聞いた上で、クラスのソースを決める。	【知】② (ワークシート、観察) 【知 ICT】④ (成果物) 【思】② (観察ワークシート) 【主】② (観察)
20 ～ 35	クリエーション	○クラスで決まったソースを宣伝する方法を考える。 ★WS・TokyoDoの方から指定をして頂いたA2のポスターも含めた宣伝方法を考えられるようにする。 ○チラシ、ポスター、CM等を考える。 ★用途に適したアプリケーションを使用する。 ○学習発表会で児童・保護者に効果的に宣伝する。 ★これまで考えてきたことを形にするために役割を決めて、計画的に進められるようにする。 ○実行したことへの評価をもらい、自分たちの活動を振り返る。	【思 ICT】④ (ワークシート、観察) 【知】③ (成果物、観察) 【主 ICT】④ 【思】③ (成果物、観察) 【主】③ (観察) 【知 ICT】⑤ (成果物) 【主】③ (ワークシート)

8 本時の指導 (全35時間中の第17時)

(1) 目標

学級代表のソースを決める活動を通して、根拠に基づいて自分の意見を伝えたり、集団で意思決定をしたりすることができるようにする。

(2) 展開

導入	○主な学習活動 ・予想される児童の反応 ○学習のゴール、学習計画、前時に取り組んだことや課題となっていたことを振り返る。 ○本時のめあてを設定する。 2組のソースを決めよう。	◆評価規準【観点】(方法) ★指導の手だて ※指導上の留意点 ※学習のゴールを黒板に示す。
	○本時の学習活動の流れを確認する。 ○グループごとのプレゼンの振り返りを行う。(6グループ) 1班 パワーソース 2班 徳持アクティブソース 3班 栄養満点のトマトソース 4班 徳持ソース・さくらもちソース 5班 ピリ辛チーズソース 6班 マーボースペシャルソース ○根拠を明確にしながら、クラスのソースを決定する。 ・WS・TokyoDoの方にアドバイス頂いたことを掲示する。 ・味について ・オリジナリティ (とくもちらしさ)	★複数の小ゴールの設定として、本時ではクラス内でのコンペとして一つを選ぶ。 ※前時までには全ての班がプレゼンを行っている。それを振り返るために、1グループのソースの特徴やオリジナリティを確認しながら掲示する。 ◆【思】② (話し合い活動の観察)
振り返り	○話し合いの振り返りを行う。 ・根拠を明確に話し合いに参加できたか。 ○次回に向けて ・どのように宣伝するかについて個人で考える。	

9 第2回おおたの未来づくりエリア協議会

10月22日（火）おおたの未来づくりエリア協議会 座談会記録 6年

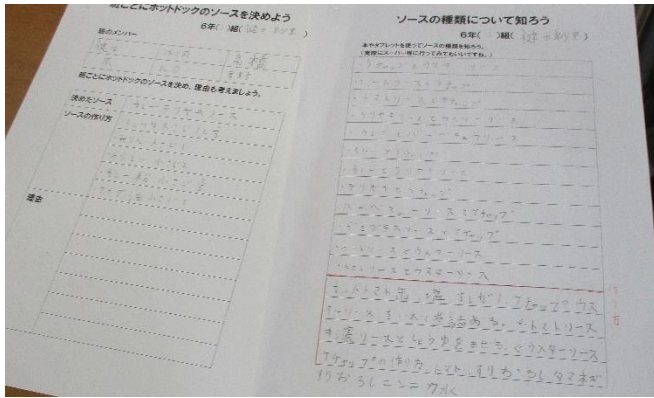
発言者	内容
	学年で進めてきたこととして、カリマネを他校のものを参考にしながら作成。こどもたちに未来づくり科について投げかけたところ、「商店街のイルミネーション」、「カップ麺作り（とくもちラーメンから）」等の意見が出た。企業の紹介を受けた後は、7月に烏川様と話し合いを進め、ホットドッグの中身を変更することが難しいことや、ソースであれば給食にも活用できると考え、ホットドッグの「ソース作り」に決定。 烏川様からこどもたちに、「力を貸してほしい」というスタンスで説明をしていただき、こどもたちの力でできることは何か考えさせた。まず個人では、スーパーで商品を調査したり、ネットでマクドナルドのバーガーに使われているソースを調べたりした。その後のグループ活動では、個人差が大きいので、グループ決めでは個々に配慮しながら進めていった。 ソースを提案する際は、「理由」と「根拠」を明確にさせた。烏川様に試食していただき、アドバイスをいただき、調理実習まで進めていくことができる。 クラス代表を1個決めた後、宣伝方法を検討しているが、広告、CM、曲作成等、こどもから意見が上がった。今は、学習発表会でいかに多くのホットドッグを販売できるか検討を進めているところである。 本日の授業では、こどもたちは一生懸命頑張ることができていた。試食しながらソース決めをしているわけではないので、話し合いが難しい部分もある。（時間が経つと味を忘れてしまうこともあるため）「美味しい」だけでなく、味・オリジナリティ・食べやすさのポイントを決めておく話し合いがしやすい。 試食した際に視点が書かれているワークシート等は用意したか？ 視点はしぼっていない。とにかく、「理由」、「根拠」が言えるように徹底させた。遠藤指導主事からのアドバイスで、ターゲットについても考えるようになった。 松仙小ではイオンと連携して、お弁当のおかず作りを進めている。こどもたちには、「自分の意見が必ず通るわけではない」とあらかじめ伝えているが、やはり自分が提案したものが選ばれた気持ちがかこどもたちは強い。全員が納得するためには、根拠となるよう、数値化することが大切である。松仙小では、味・見た目・オリジナリティ・値段をポイントとしている。 小池小では数年前、もの作りの初期段階の授業を進めていた。地域創生のため、公園の管理人さんから公園の使い方についてお話をいただき、検討を進めていた。5年生では、3年生に向けてゲームを作成した。評価には、スパイラルチャートを使用するのが有効ではないか。

	梅田小では、地域の課題（買い物がしにくい等）を上げ、検討を進めていった。5年では、6つの視点を使って商品（食品）開発を進めたが、いざPRをする際に、ターゲットを決めていなかったため、ぶれてしまい、商品そのものを変えたいという意見も出るまでになってしまった。 ターゲットについては、烏川様に聞いてみる。 こどもたちは、学習発表会でたくさん売りたいという気持ちが強い。 池上小も徳持と同じく、烏川様のホットドッグのソース作りを進めている。オリジナルティは烏川様に任せているが、こどもたちはコストを気にしている。なるべく身近なもので作りたい。 徳持は調理実習での食材の予算はどうしているのか。 手の込んだものではなく、レトルトや缶を使うようにしている。予算は全て学校から出しているが、現実的に用意できるもの、使えるもののみにしている。
--	--

10 成果と課題

	成果	課題
教師	・学校全体として、未来づくり科でやるべきことへの理解が進んだ。 ・児童とともにゼロから作り上げることの面白さを実感することができた。 ・外部との折衝力が身に付いた。	・今回は企業を紹介していただき、たくさんご協力頂けたが、企業との連携が難しい場合も大いに想定できる。 ・スタートが遅く、十分に活動する時間を確保できなかった。 ・販売をするにあたり、コスト面はあまり考慮しなかったため、企業の方と連携を取りながらはつきりさせておく。 ・試食等でもコストはかかる。児童から集めるのにも限度があるので、予算の使い方についても考慮してほしい。
児童	・作り上げることの達成感をもたせることができた。 ・理由や根拠をもつことを意識付けることができた。 ・プレゼンテーション力が上がった。	・ソースを決めるときの視点が曖昧だったので、事前に児童も交え、明確にしておく。 ・販売相手を明確にするという意識がなかったため、計画を立てる前にターゲットを決めるようにする。 ・児童の提案したものが必ず採用されるわけではないので、採用されなかった案や、児童へのフォローが重要。

11 単元及び授業の様子



ソースについての理解を深める

コンセプトづくりのための話し合い活動



ソースづくり ⇒ 試食 ①



ソースづくり ⇒ 試食 ②



ソースづくり ⇒ 試食 ③

学級代表ソースを決めるための話し合い活動



話し合いの記録 (板書)



お店で販売された様子

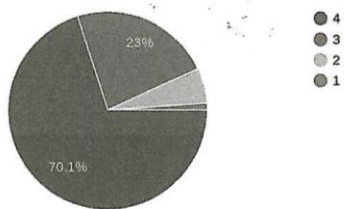
Ⅲ. 事前・事後アンケート結果

《児童アンケート結果》

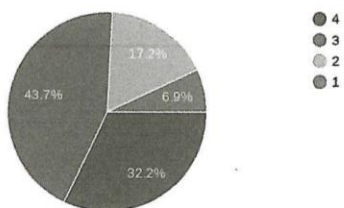
令和6年度 校内研究アンケート1年生

1回目

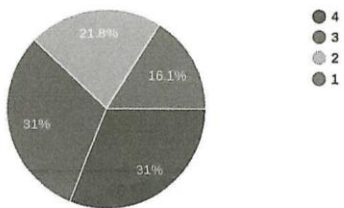
あなたは、いけがみや とくもちの まちが すきですか？【4：とてもすき 3：ややすき 2：すきではない 1：きらい】



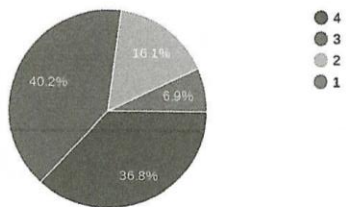
あなたは、じぶんが いけがみや とくもちの まちのことを よくしっていると おもいますか？【4：とてもそうおもふ 3：ややそうおもふ 2：あまりおもわない 1：まったくおもわない】



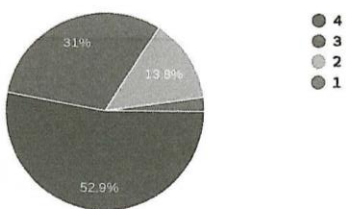
あなたは、ちいきのおとなのひとと かかわるとき、れいぎたたく、すすんで、コミュニケーションをとることができますか？（これまでにそのような けいけんがない ひとは、できそうかどうかで こたえましょう。）【4：きちんとできる 3：まあできる 2：すこしならできる 1：できない】



あなたは、ともだちと いっしょに べんきょうするとき、じぶんの いけんを あいてにつたわるようにはなせますか？【4：きちんとできる 3：まあできる 2：少しならできる 1：できない】

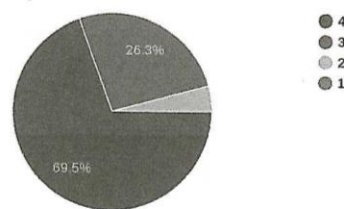


あなたは、ともだちと いっしょに べんきょうするとき、ともだちの いけんを さいごまできくことが できますか？【4：きちんとできる 3：まあできる 2：少しならできる 1：できない】

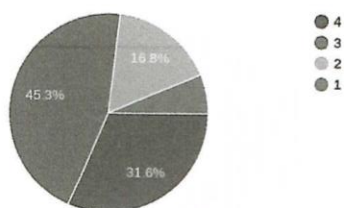


2回目

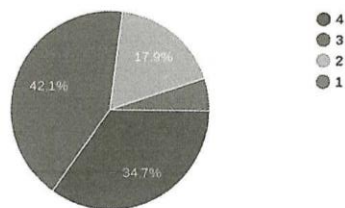
あなたは、いけがみや とくもちの まちが すきですか？【4：とてもすき 3：ややすき 2：すきではない 1：きらい】



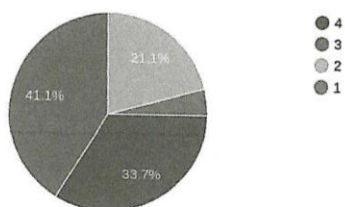
あなたは、じぶんが いけがみや とくもちの まちのことを よくしっていると おもいますか？【4：とてもそうおもふ 3：ややそうおもふ 2：あまりおもわない 1：まったくおもわない】



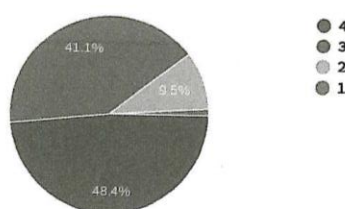
あなたは、ちいきのおとなのひとと かかわるとき、れいぎたたく、すすんで、コミュニケーションをとることができますか？（これまでにそのような けいけんがない ひとは、できそうかどうかで こたえましょう。）【4：きちんとできる 3：まあできる 2：すこしならできる 1：できない】



あなたは、ともだちと いっしょに べんきょうするとき、じぶんの いけんを あいてにつたわるようにはなせますか？【4：きちんとできる 3：まあできる 2：少しならできる 1：できない】

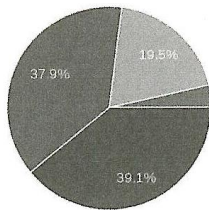


あなたは、ともだちと いっしょに べんきょうするとき、ともだちの いけんを さいごまできくことが できますか？【4：きちんとできる 3：まあできる 2：少しならできる 1：できない】



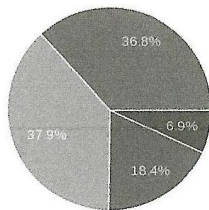
1 回 目

あなたは、もくひょうをもったり、さきのことをかんがえてけいかくしたりすることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



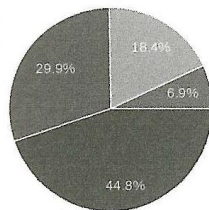
● 4
● 3
● 2
● 1

あなたは、じぶんじしんのこうどうをじぶんでふりかえったり、だれからアドバイスをもらったりしたとき、じぶんのせいかつやぐくしゅうをよりよくすることができますか？



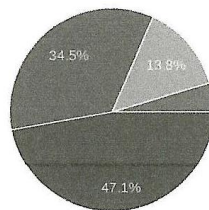
● ほとんどできない
● あまりできない
● まあできる
● かなりできる

あなたは、じぶんがかんがえたとおりに、かだいをかんせいさせたり、ずこうのさくひんをしあげたり、じぶんのつくりたいものをつくりあげたりすることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



● 4
● 3
● 2
● 1

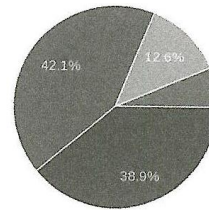
あなたは、じぶんがかんせいさせたさくひんやかだいを、よりレベルのたかいものにするために、みなおしたりやりなおしたりすることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



● 4
● 3
● 2
● 1

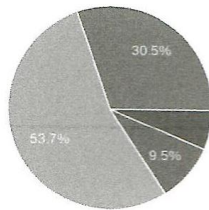
2 回 目

あなたは、もくひょうをもったり、さきのことをかんがえてけいかくしたりすることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



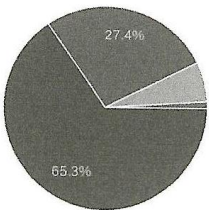
● 4
● 3
● 2
● 1

あなたは、じぶんじしんのこうどうをじぶんでふりかえったり、だれからアドバイスをもらったりしたとき、じぶんのせいかつやぐくしゅうをよりよくすることができますか？



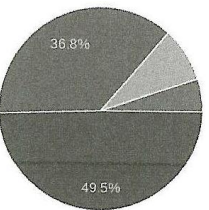
● ほとんどできない
● あまりできない
● まあできる
● かなりできる

あなたは、じぶんがかんがえたとおりに、かだいをかんせいさせたり、ずこうのさくひんをしあげたり、じぶんのつくりたいものをつくりあげたりすることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



● 4
● 3
● 2
● 1

あなたは、じぶんがかんせいさせたさくひんやかだいを、よりレベルのたかいものにするために、みなおしたりやりなおしたりすることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】

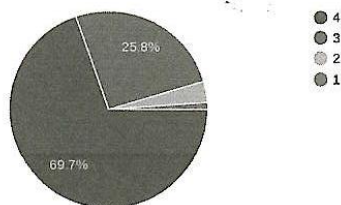


● 4
● 3
● 2
● 1

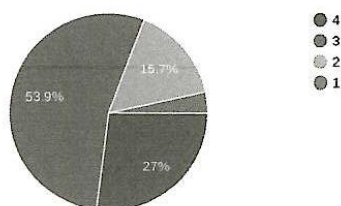
令和6年度 校内研究アンケート 2年生

1回目

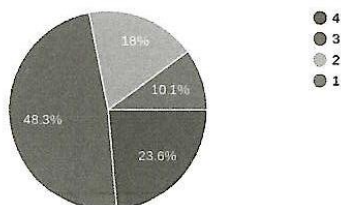
あなたは、いけがみや とくもちの まちが すきですか？【4：とても
すき 3：ややすき 2：すきではない 1：きらい】



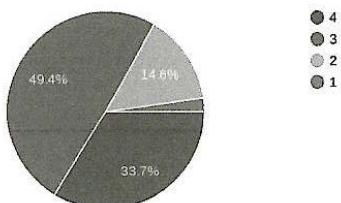
あなたは、じぶんが いけがみや とくもちの まちのことを よくし
っていると おもいますか？【4：とてもそうおも う 3：ややそうおも
う 2：あまりおもわない 1：まったくおもわない】



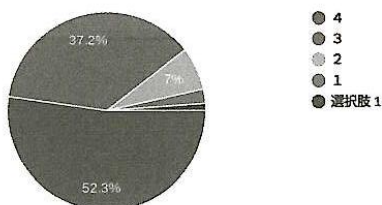
あなたは、ちいきのおとなのひとと かかわるとき、れいぎたたく、
すすんで、コミュニケーションをとることができますか？（これまでに
そのような けいけんがない ひとは、できそうかどうかで こたえま
しょう。）【4：きちんとできる 3：まあできる 2：少しならできる
1：できない】



あなたは、友だちと いっしょに べんきょうするとき、自分の いけ
んを あい手につたわるように話せますか？【4：きちんとできる 3：
まあできる 2：少しならできる 1：できない】

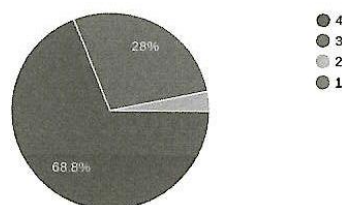


あなたは、友だちと いっしょに べんきょうするとき、友だちの い
けんを さいごまで聞くことが できますか？【4：きちんとできる
3：まあできる 2：少しならできる 1：できない】

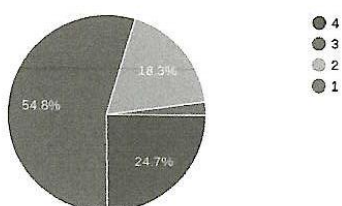


2回目

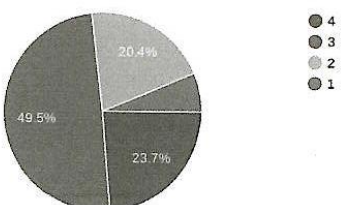
あなたは、いけがみや とくもちの まちが すきですか？【4：とても
すき 3：ややすき 2：すきではない 1：きらい】



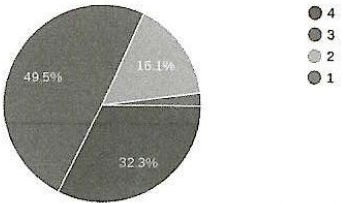
あなたは、じぶんが いけがみや とくもちの まちのことを よくし
っていると おもいますか？【4：とてもそうおも う 3：ややそうおも
う 2：あまりおもわない 1：まったくおもわない】



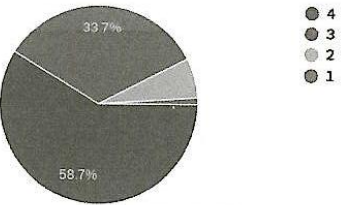
あなたは、ちいきのおとなのひとと かかわるとき、れいぎたたく、
すすんで、コミュニケーションをとることができますか？（これまでに
そのような けいけんがない ひとは、できそうかどうかで こたえま
しょう。）【4：きちんとできる 3：まあできる 2：少しならできる
1：できない】



あなたは、友だちと いっしょに べんきょうするとき、自分の いけ
んを あい手につたわるように話せますか？【4：きちんとできる 3：
まあできる 2：少しならできる 1：できない】

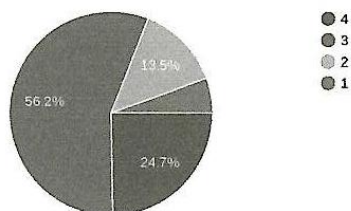


あなたは、友だちと いっしょに べんきょうするとき、友だちの い
けんを さいごまで聞くことが できますか？【4：きちんとできる
3：まあできる 2：少しならできる 1：できない】

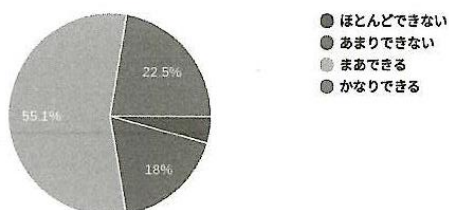


1回目

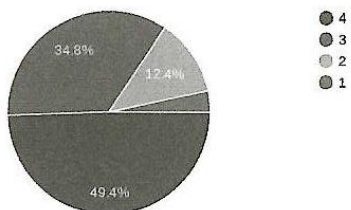
あなたは、もくひょうをもったり、先のことを考えて計画したりすることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



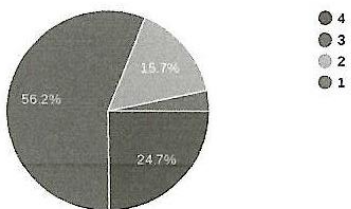
あなたは、自分自身のこうどうを自分でふりかえったり、だれかからアドバイスをもらったりしたとき、自分の生活や学しゅうをよりよくすることができますか？



あなたは、自分が考えた通りに、かだいをかんせいさせたり、図工の作品をしあげたり、じぶんの作りたいものをつくりあげたりすることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】

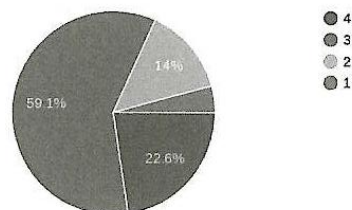


あなたは、自分がかんせいさせた作品やかだいを、よりレベルの高いものにするために、見直したりやり直したりすることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】

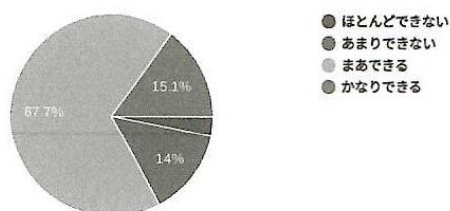


2回目

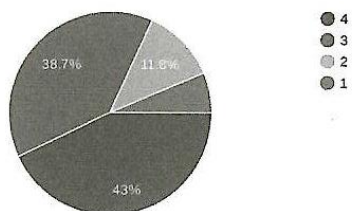
あなたは、もくひょうをもったり、先のことを考えて計画したりすることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



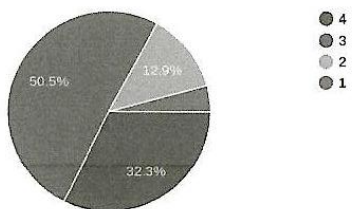
あなたは、自分自身のこうどうを自分でふりかえったり、だれかからアドバイスをもらったりしたとき、自分の生活や学しゅうをよりよくすることができますか？



あなたは、自分が考えた通りに、かだいをかんせいさせたり、図工の作品をしあげたり、じぶんの作りたいものをつくりあげたりすることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



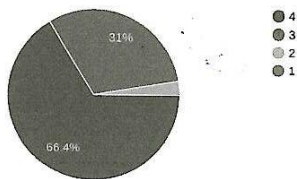
あなたは、自分がかんせいさせた作品やかだいを、よりレベルの高いものにするために、見直したりやり直したりすることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



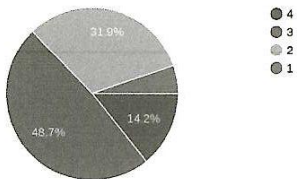
令和6年度 校内研究アンケート 3年生

1回目

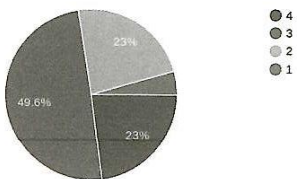
あなたは、いけがみや とくもちの まちが すきですか？
【4：とても好き 3：やや好き 2：好きではない 1：きらい】



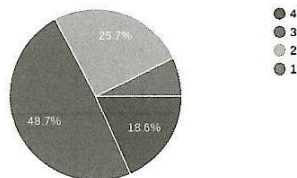
あなたは、じぶんが いけがみや とくもちの まちのことを よくし
っていると おもいますか？ 【4：とてもそう思う 3：ややそう思う
2：あまり思わない 1：全く思わない】



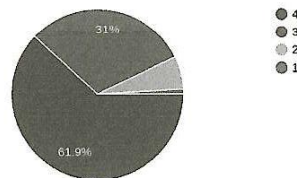
あなたは、ちいきのおとなのひとと かかわるとき、れいぎたたく、
すすんで、コミュニケーションをとることができますか？ (これまでに
そのような けいけんがない ひとは、できそうかどうかで こたえま
しょう。)
【4：きちんとできる 3：まあできる 2：少しならできる 1：できない】



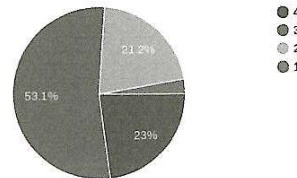
あなたは、ともだちと いっしょに べんきょうするとき、じぶんの
いけんを あいてにつたわるようにはなせますか？ 【4：きちんとできる
3：まあできる 2：少しならできる 1：できない】



あなたは、ともだちと いっしょに べんきょうするとき、ともだちの
いけんを さいごまできくことが できますか？ 【4：きちんとできる
3：まあできる 2：少しならできる 1：できない】

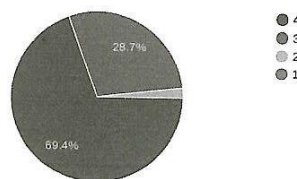


あなたは、もくひょうをもったり、先のことを考えて計画したりするこ
とができますか？ 【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりでき
ない 1：ほとんどできない】

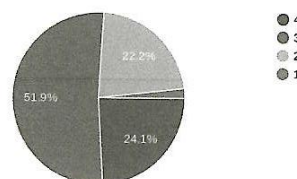


2回目

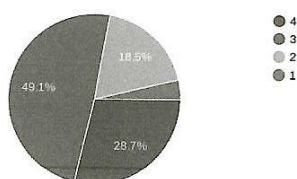
あなたは、いけがみや とくもちの まちが すきですか？
【4：とても好き 3：やや好き 2：好きではない 1：きらい】



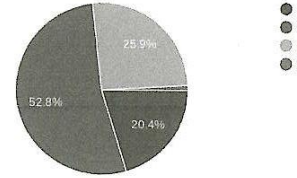
あなたは、じぶんが いけがみや とくもちの まちのことを よくし
っていると おもいますか？ 【4：とてもそう思う 3：ややそう思う
2：あまり思わない 1：全く思わない】



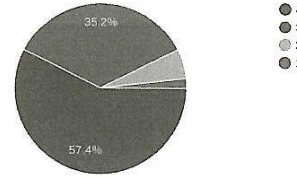
あなたは、ちいきのおとなのひとと かかわるとき、れいぎたたく、
すすんで、コミュニケーションをとることができますか？ (これまでに
そのような けいけんがない ひとは、できそうかどうかで こたえま
しょう。)
【4：きちんとできる 3：まあできる 2：少しならできる 1：できない】



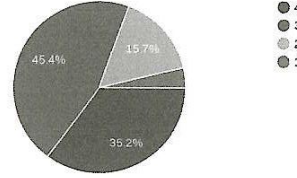
あなたは、ともだちと いっしょに べんきょうするとき、じぶんの
いけんを あいてにつたわるようにはなせますか？ 【4：きちんとできる
3：まあできる 2：少しならできる 1：できない】



あなたは、ともだちと いっしょに べんきょうするとき、ともだちの
いけんを さいごまできくことが できますか？ 【4：きちんとできる
3：まあできる 2：少しならできる 1：できない】

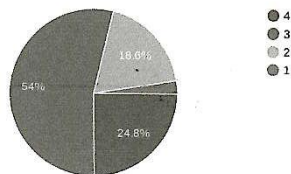


あなたは、もくひょうをもったり、先のことを考えて計画したりするこ
とができますか？ 【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりでき
ない 1：ほとんどできない】

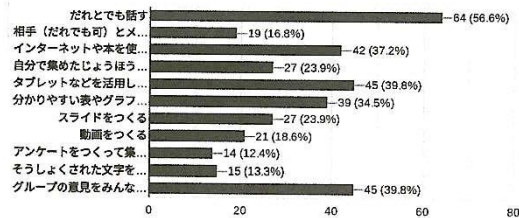


1回目

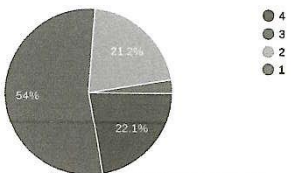
あなたは、自分自身の行動を自分でふり返ったり、だれかからアドバイスをもらったりした時、自分の生活や学習をよりよくすることができますか？【4：とてもそう思う 3：ややそう思う 2：あまり思わない 1：全く思わない】



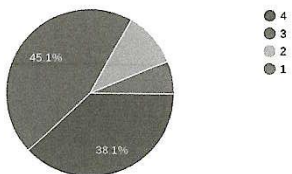
あなたが、「自分はうまく（トラブルなく）できる。」と思うものをえらんでください。【なんこえらんでもよいです】



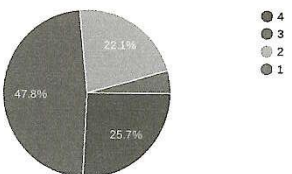
あなたは、もくてきにに合わせてタブレットや本などを使って、ひつようなじょうほうをじゅうぶんにあつめることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



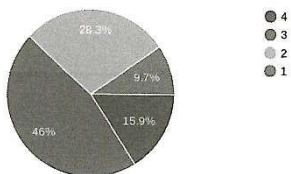
あなたは、じぶんがかんがえたとおりに、かだいをかんせいさせたり、ずこうのさくひんをしあげたり、じぶんの作りたいものをつくりあげたりすることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



あなたは、じぶんがかんせいさせたさくひんやかだいを、よりレベルのたかいものにするために、みなおしたりやりなおしたりすることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】

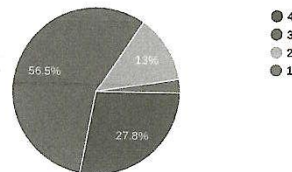


あなたは、あいてによりよくつたえるために、ぶんしょうやスライド、しんぶん、プレゼンテーションなどのつくりかたやつたえかたにくふうをすることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】

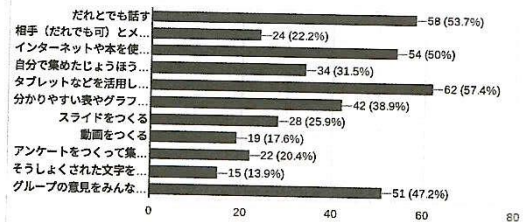


2回目

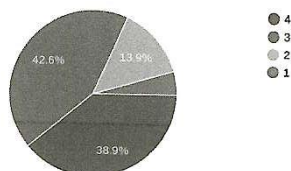
あなたは、自分自身の行動を自分でふり返ったり、だれかからアドバイスをもらったりした時、自分の生活や学習をよりよくすることができますか？【4：とてもそう思う 3：ややそう思う 2：あまり思わない 1：全く思わない】



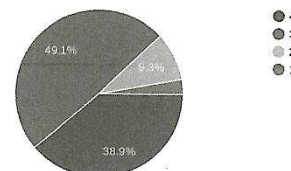
あなたが、「自分はうまく（トラブルなく）できる。」と思うものをえらんでください。【なんこえらんでもよいです】



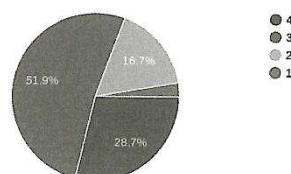
あなたは、もくてきにに合わせてタブレットや本などを使って、ひつようなじょうほうをじゅうぶんにあつめることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



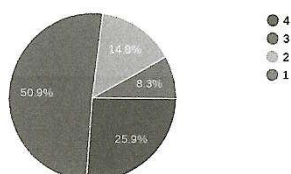
あなたは、じぶんがかんがえたとおりに、かだいをかんせいさせたり、ずこうのさくひんをしあげたり、じぶんの作りたいものをつくりあげたりすることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



あなたは、じぶんがかんせいさせたさくひんやかだいを、よりレベルのたかいものにするために、みなおしたりやりなおしたりすることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



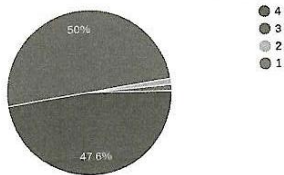
あなたは、あいてによりよくつたえるために、ぶんしょうやスライド、しんぶん、プレゼンテーションなどのつくりかたやつたえかたにくふうをすることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



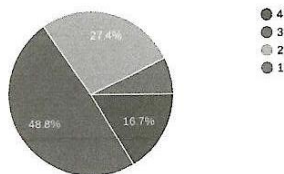
令和6年度 校内研究 アンケート 4年生

1回目

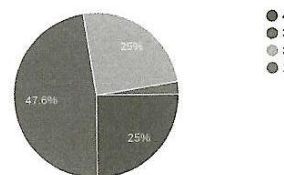
あなたは、いけがみや とくもちの まちが すきですか？
【4：とても好き 3：やや好き 2：好きではない 1：きらい】



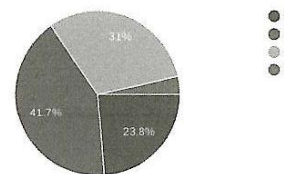
あなたは、じぶんが いけがみや とくもちの まちのことを よくし
っていると おもいますか？【4：とてもそう思う 3：ややそう思う
2：あまり思わない 1：全く思わない】



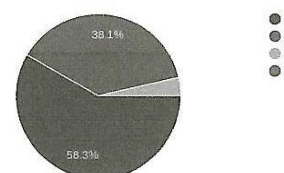
あなたは、ちいきのおとなのひとと かかわるとき、れいぎたくしく、
すすんで、コミュニケーションをとることができますか？（これまでに
そのような けいけんがない ひとは、できそうかどうかで こたえま
しょう。）
【4：きちんとできる 3：まあできる 2：少しならできる 1：できない】



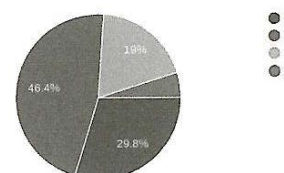
あなたは、ともだちと いっしょに べんきょうするとき、じぶんの
いけんを あいてにつたわるようにはなせますか？【4：きちんとできる
3：まあできる 2：少しならできる 1：できない】



あなたは、ともだちと いっしょに べんきょうするとき、ともだちの
いけんを さいごまできくことが できますか？【4：きちんとできる
3：まあできる 2：少しならできる 1：できない】

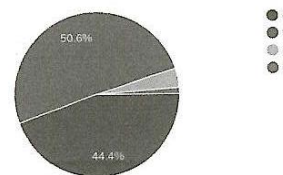


あなたは、もくひょうをもったり、先のことを考えて計画したりするこ
とができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりでき
ない 1：ほとんどできない】

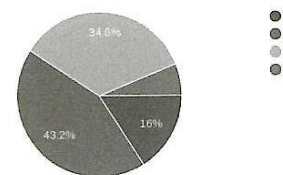


2回目

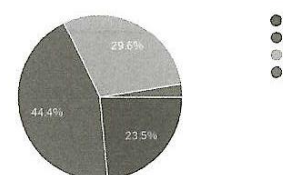
あなたは、いけがみや とくもちの まちが すきですか？
【4：とても好き 3：やや好き 2：好きではない 1：きらい】



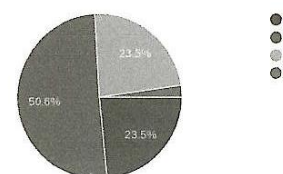
あなたは、じぶんが いけがみや とくもちの まちのことを よくし
っていると おもいますか？【4：とてもそう思う 3：ややそう思う
2：あまり思わない 1：全く思わない】



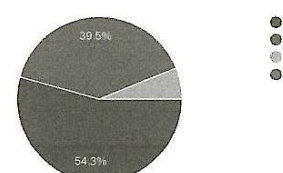
あなたは、ちいきのおとなのひとと かかわるとき、れいぎたくしく、
すすんで、コミュニケーションをとることができますか？（これまでに
そのような けいけんがない ひとは、できそうかどうかで こたえま
しょう。）
【4：きちんとできる 3：まあできる 2：少しならできる 1：できない】



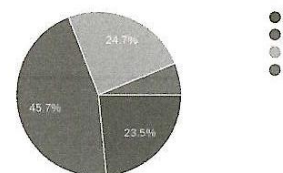
あなたは、ともだちと いっしょに べんきょうするとき、じぶんの
いけんを あいてにつたわるようにはなせますか？【4：きちんとできる
3：まあできる 2：少しならできる 1：できない】



あなたは、ともだちと いっしょに べんきょうするとき、ともだちの
いけんを さいごまできくことが できますか？【4：きちんとできる
3：まあできる 2：少しならできる 1：できない】

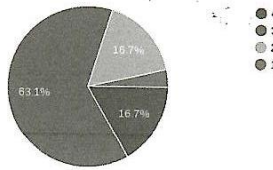


あなたは、もくひょうをもったり、先のことを考えて計画したりするこ
とができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりでき
ない 1：ほとんどできない】

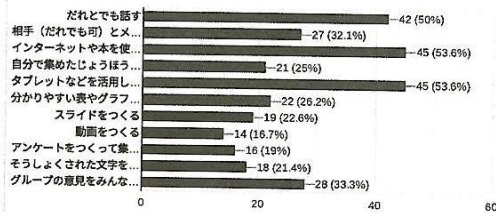


1 回目

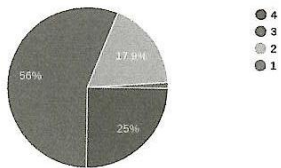
あなたは、自分自身の行動を自分でふり返ったり、だれかからアドバイスをもったりした時、自分の生活や学習をよりよくすることができますか？【4：とてもそう思う 3：ややそう思う 2：あまり思わない 1：全く思わない】



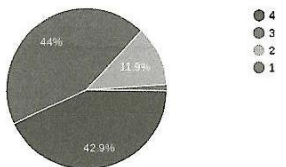
あなたが、「自分はうまく（トラブルなく）できる。」と思うものをえらんでください。【なんこえらんでもよいです】



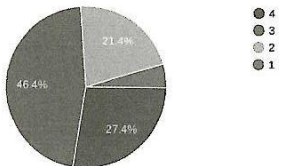
あなたは、もくてきにに合わせてタブレットや本を使って、ひつようなじょうほうをじゅうぶんにあつめることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



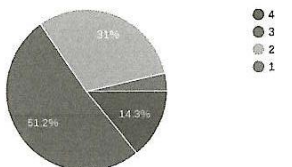
あなたは、自分が考えた通りに、かだいをかんせいさせたり、図工の作品をしあげたり、じぶんの作りたいものをつくりあげたりすることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



あなたは、自分がかんせいさせた作品やかだいを、よりレベルの高いものにするために、見直したりやり直したりすることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】

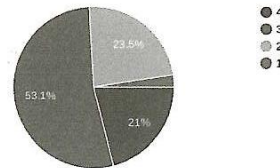


あなたは、あいてによりよくつたえるために、ぶんしょうやスライド、しんぶん、プレゼンテーションなどのつくり方やつたえ方にくふうをすることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】

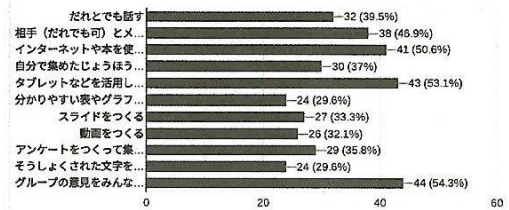


2 回目

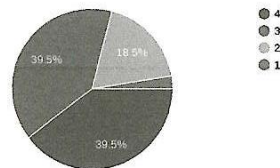
あなたは、自分自身の行動を自分でふり返ったり、だれかからアドバイスをもったりした時、自分の生活や学習をよりよくすることができますか？【4：とてもそう思う 3：ややそう思う 2：あまり思わない 1：全く思わない】



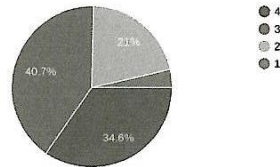
あなたが、「自分はうまく（トラブルなく）できる。」と思うものをえらんでください。【なんこえらんでもよいです】



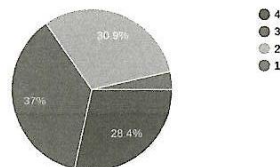
あなたは、もくてきにに合わせてタブレットや本を使って、ひつようなじょうほうをじゅうぶんにあつめることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



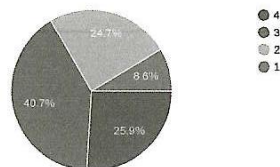
あなたは、自分が考えた通りに、かだいをかんせいさせたり、図工の作品をしあげたり、じぶんの作りたいものをつくりあげたりすることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



あなたは、自分がかんせいさせた作品やかだいを、よりレベルの高いものにするために、見直したりやり直したりすることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



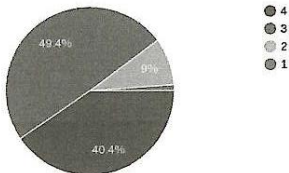
あなたは、あいてによりよくつたえるために、ぶんしょうやスライド、しんぶん、プレゼンテーションなどのつくり方やつたえ方にくふうをすることができますか？【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



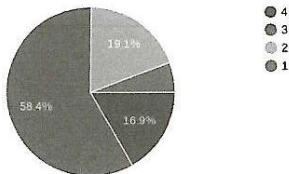
令和6年度 校内研究アンケート 5年生

1回目

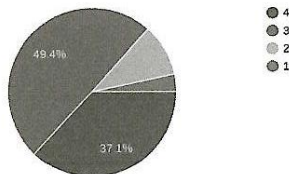
あなたは、池上や徳持の地域が好きですか？
【4：とても好き 3：好き 2：普通 1：わからない】



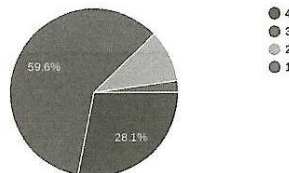
あなたは、自分が池上や徳持の町のことをよく知っていると思いますか？
【4：とてもそう思う 3：ややそう思う 2：あまり思わない 1：全く思わない】



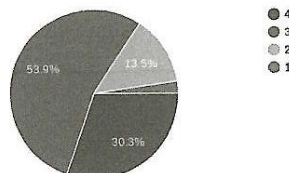
あなたは、地域の大人の人と関わる時、礼儀正しく、すすんで、コミュニケーションをとることができますか？（これまでにそういった経験がない人は、できそうかどうかで答えましょう。）
【4：きちんとできる 3：まあできる 2：少しならでき 1：できない】



あなたは、学習の場面や普段の生活の場面（友達と遊ぶとき等）で、友達と意見を出し合ったり、意見を合わせてさらによい意見を考えたりすることができますか？
【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】

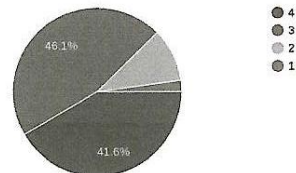


あなたは、学習の場面で、期限を守ったり、友達とうまく仕事を分担したりすることができますか？
【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】

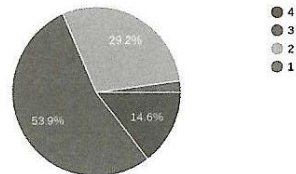


2回目

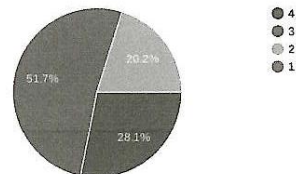
あなたは、池上や徳持の地域が好きですか？
【4：とても好き 3：好き 2：普通 1：わからない】



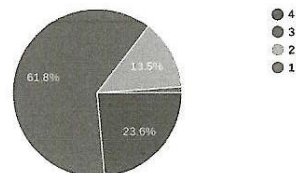
あなたは、自分が池上や徳持の町のことをよく知っていると思いますか？
【4：とてもそう思う 3：ややそう思う 2：あまり思わない 1：全く思わない】



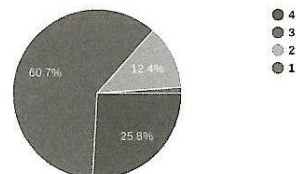
あなたは、地域の大人の人と関わる時、礼儀正しく、すすんで、コミュニケーションをとることができますか？（これまでにそういった経験がない人は、できそうかどうかで答えましょう。）
【4：きちんとできる 3：まあできる 2：少しならでき 1：できない】



あなたは、学習の場面や普段の生活の場面（友達と遊ぶとき等）で、友達と意見を出し合ったり、意見を合わせてさらによい意見を考えたりすることができますか？
【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



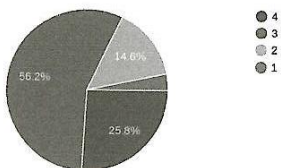
あなたは、学習の場面で、期限を守ったり、友達とうまく仕事を分担したりすることができますか？
【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



1回目

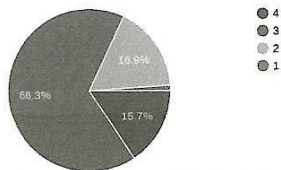
あなたは、普段から、目標をもったり、先のことを考えて物事を計画したりすることができますか？

【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】

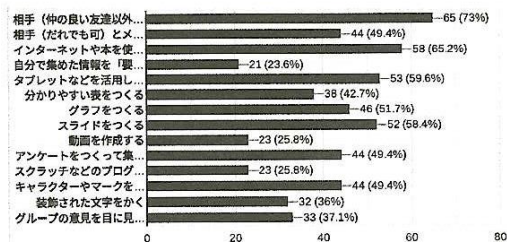


あなたは、自分自身の行動を自分で振り返ったり、身近な大人の人からの助言やアドバイスをもらったりした時、自分の生活や学習を生かして改善することができますか？

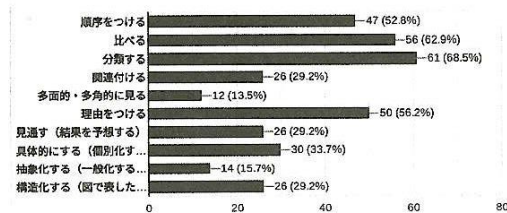
【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



以下に示した行動の中で、あなたが、「自分はうまく（トラブルなく）できる。」と思うものを選んでください。【複数回答可】

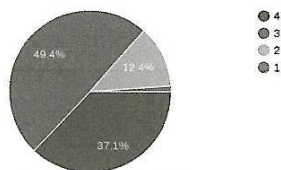


複数の意見が出て、意見を整理したいときに、あなたができそうな整理の仕方を選んでください。（この質問をされる前の自分を想像して答えましょう。意味がわからない選択肢は、選ばないようにしましょう。）【複数回答可】



あなたは、目的に合わせてタブレットや本を使って、必要な情報を十分に集めることができますか？

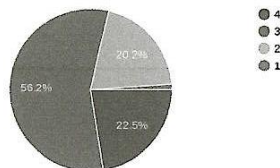
【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



2回目

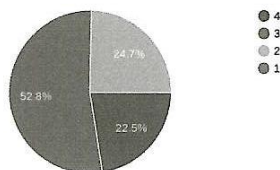
あなたは、普段から、目標をもったり、先のことを考えて物事を計画したりすることができますか？

【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】

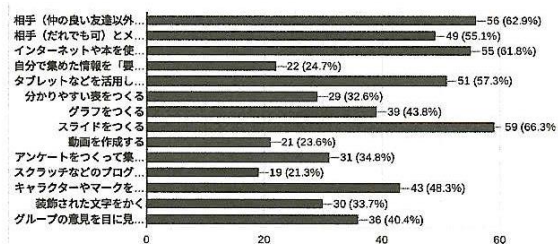


あなたは、自分自身の行動を自分で振り返ったり、身近な大人の人からの助言やアドバイスをもらったりした時、自分の生活や学習を生かして改善することができますか？

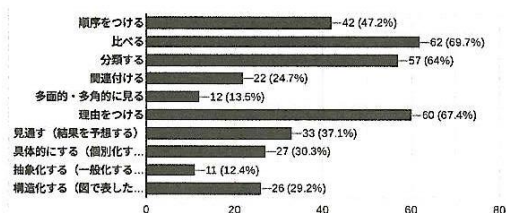
【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



以下に示した行動の中で、あなたが、「自分はうまく（トラブルなく）できる。」と思うものを選んでください。【複数回答可】

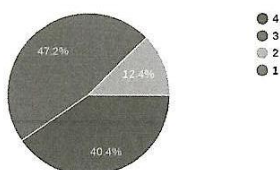


複数の意見が出て、意見を整理したいときに、あなたができそうな整理の仕方を選んでください。（この質問をされる前の自分を想像して答えましょう。意味がわからない選択肢は、選ばないようにしましょう。）【複数回答可】



あなたは、目的に合わせてタブレットや本を使って、必要な情報を十分に集めることができますか？

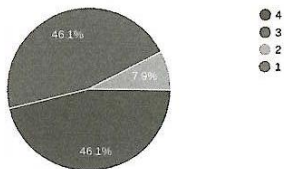
【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



1回目

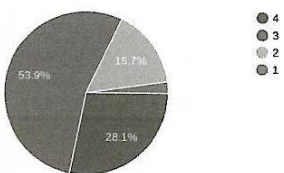
あなたは、自分が考えた通りに、課題を完成させたり、図工の作品を仕上げたり、自分の作りたいものをつくりあげたりすることができますか？

【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



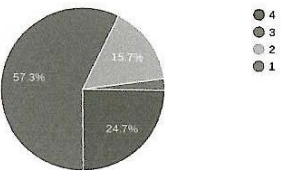
あなたは、自分が一度完成させた作品や課題を、よりレベルの高いものにするために、見直したりやり直したりすることができますか？

【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



あなたは、相手によりよく伝えるために、文章やスライド、新聞、プレゼンテーションなどのつくり方や伝え方に工夫をして、実行することができますか？

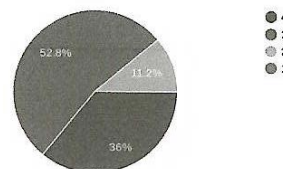
【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



2回目

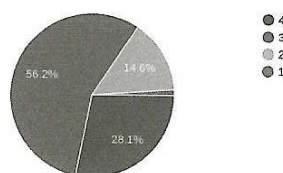
あなたは、自分が考えた通りに、課題を完成させたり、図工の作品を仕上げたり、自分の作りたいものをつくりあげたりすることができますか？

【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



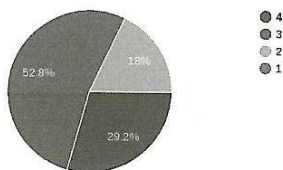
あなたは、自分が一度完成させた作品や課題を、よりレベルの高いものにするために、見直したりやり直したりすることができますか？

【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



あなたは、相手によりよく伝えるために、文章やスライド、新聞、プレゼンテーションなどのつくり方や伝え方に工夫をして、実行することができますか？

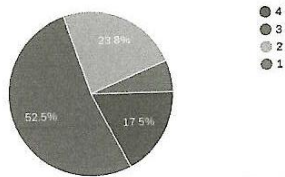
【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



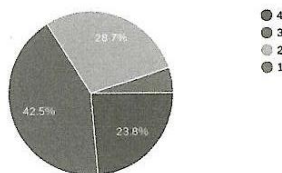
令和6年度 校内研究アンケート 6年生

1回目

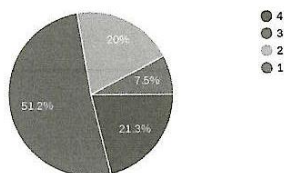
あなたは、池上や徳持の地域が好きですか？
【4：とても好き 3：好き 2：普通 1：わからない】



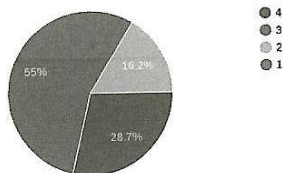
あなたは、自分が池上や徳持の町のことをよく知っていると思いますか？
【4：とてもそう思う 3：ややそう思う 2：あまり思わない 1：全く思わない】



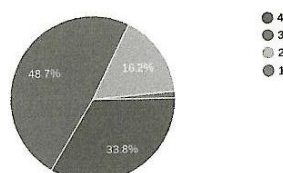
あなたは、地域の大人の人と関わる時、礼儀正しく、すすんで、コミュニケーションをとることができますか？（これまでにそういった経験がない人は、できそうかどうかで答えましょう。）
【4：きちんとできる 3：まあできる 2：少しならできる 1：できない】



あなたは、学習の場面や普段の生活の場面（友達と遊ぶとき等）で、友達と意見を出し合ったり、意見を合わせてさらによい意見を考えたりすることができますか？
【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】

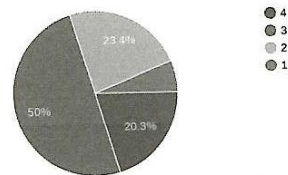


あなたは、学習の場面で、期限を守ったり、友達とうまく仕事を分担したりすることができますか？
【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】

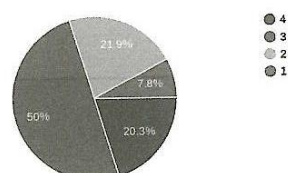


2回目

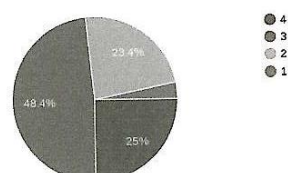
あなたは、池上や徳持の地域が好きですか？
【4：とても好き 3：好き 2：普通 1：わからない】



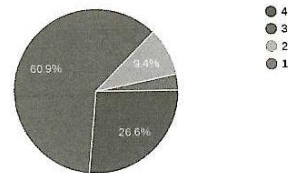
あなたは、自分が池上や徳持の町のことをよく知っていると思いますか？
【4：とてもそう思う 3：ややそう思う 2：あまり思わない 1：全く思わない】



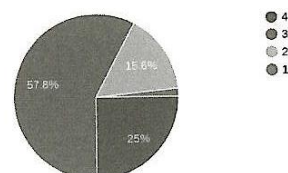
あなたは、地域の大人の人と関わる時、礼儀正しく、すすんで、コミュニケーションをとることができますか？（これまでにそういった経験がない人は、できそうかどうかで答えましょう。）
【4：きちんとできる 3：まあできる 2：少しならできる 1：できない】



あなたは、学習の場面や普段の生活の場面（友達と遊ぶとき等）で、友達と意見を出し合ったり、意見を合わせてさらによい意見を考えたりすることができますか？
【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



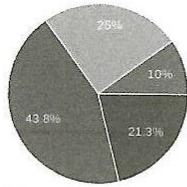
あなたは、学習の場面で、期限を守ったり、友達とうまく仕事を分担したりすることができますか？
【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



1回目

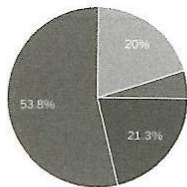
あなたは、普段から、目標をもったり、先のことを考えて物事を計画したりすることができますか？

【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】

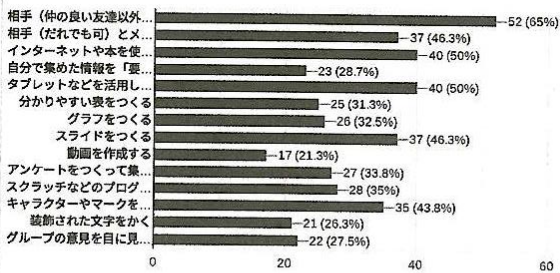


あなたは、自分自身の行動を自分で振り返ったり、身近な大人の人からの助言やアドバイスをもらったりした時、自分の生活や学習を生かして改善することができますか？

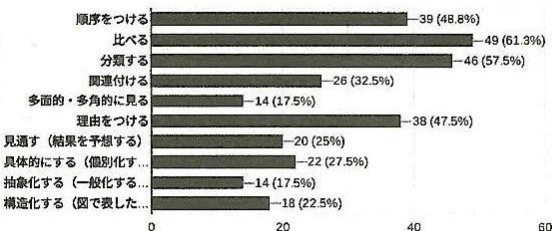
【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



以下に示した行動の中で、あなたが、「自分はうまく（トラブルなく）できる。」と思うものを選んでください。【複数回答可】

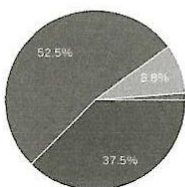


複数の意見が出て、意見を整理したいときに、あなたができそうな整理の仕方を選んでください。（この質問をされる前の自分を想像して答えましょう。意味がわからない選択肢は、選ばないようにしましょう。）【複数回答可】



あなたは、目的に合わせてタブレットや本などを使って、必要な情報を十分に集めることができますか？

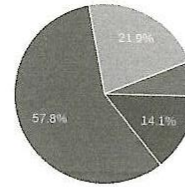
【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



2回目

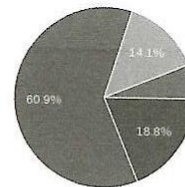
あなたは、普段から、目標をもったり、先のことを考えて物事を計画したりすることができますか？

【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】

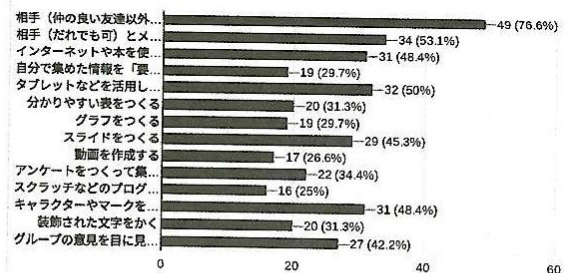


あなたは、自分自身の行動を自分で振り返ったり、身近な大人の人からの助言やアドバイスをもらったりした時、自分の生活や学習を生かして改善することができますか？

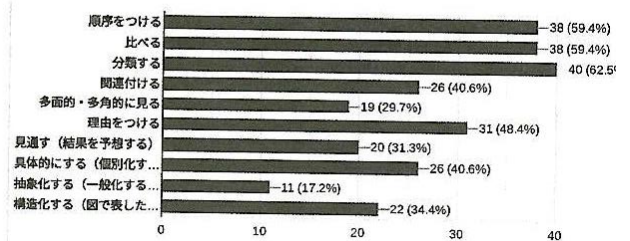
【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



以下に示した行動の中で、あなたが、「自分はうまく（トラブルなく）できる。」と思うものを選んでください。【複数回答可】

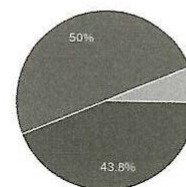


複数の意見が出て、意見を整理したいときに、あなたができそうな整理の仕方を選んでください。（この質問をされる前の自分を想像して答えましょう。意味がわからない選択肢は、選ばないようにしましょう。）【複数回答可】



あなたは、目的に合わせてタブレットや本などを使って、必要な情報を十分に集めることができますか？

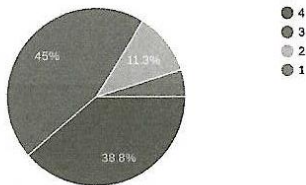
【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



1回目

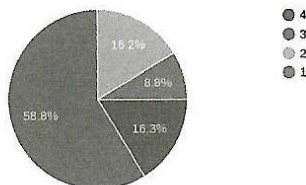
あなたは、自分が考えた通りに、課題を完成させたり、図工の作品を仕上げたり、自分の作りたいものをつくりあげたりすることができますか？

【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



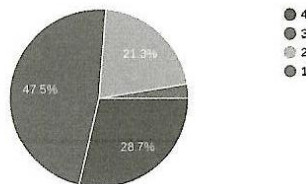
あなたは、自分が一度完成させた作品や課題を、よりレベルの高いものにするために、見直したりやり直したりすることができますか？

【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



あなたは、相手によりよく伝えるために、文章やスライド、新聞、プレゼンテーションなどのつくり方や伝え方に工夫をして、実行することができますか？

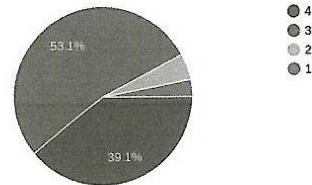
【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



2回目

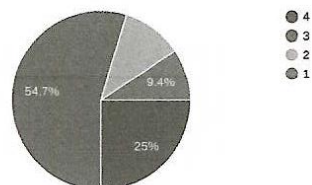
あなたは、自分が考えた通りに、課題を完成させたり、図工の作品を仕上げたり、自分の作りたいものをつくりあげたりすることができますか？

【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



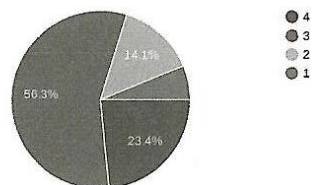
あなたは、自分が一度完成させた作品や課題を、よりレベルの高いものにするために、見直したりやり直したりすることができますか？

【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



あなたは、相手によりよく伝えるために、文章やスライド、新聞、プレゼンテーションなどのつくり方や伝え方に工夫をして、実行することができますか？

【4：かなりできる 3：まあできる 2：あまりできない 1：ほとんどできない】



IV. 研究の成果と課題

【成果】

全校的な成果として、本研究の副題や目指す児童像を意識して授業づくりに取り組んだことにより、地域とのつながりができたり、こどもたちにこれまで以上に地域を意識させたりすることができたことが挙げられる。未来づくり科を実施する5・6年生では、この教科の学習過程を成立させるために必須な授業パートナーを選定することができた。1～4年生においては、特に生活科や総合的な学習の時間を主として、外部講師の招聘や企業との交流、異学年との交流の機会を充実させることができた。

児童アンケートの結果では、「あなたは、池上や徳持の町のことをよく知っていると思いますか。」という設問に対して、事後アンケートの肯定的な回答の割合が、どの学年でも増加している。このことから、本研究を進めていく中で、教師が意識的に学習過程、または、学習活動の中に地域材を活用していったことが、こどもたちには自分たちが住まう町や地域の、これまで知らなかった一面を認識させることに役立ったと言える。

また、アンケートの設問の中で、ICT活用を含めた情報活用能力の自己評価をさせた『あなたがうまく（トラブルなく）できる』と思うものを選んでください。』という設問では、概ねの学年が「できる」と回答した数や種類が増加していることが見て取れた。これは、未来づくり科で育成すべき創造的な資質・能力とその素地を意識した授業実践が、こどもたちの情報活用の技能を高め、自信をもって取り組めるようにしたことを示唆している。具体的には、2年生で地域のよさを1年生に伝えるためにスライド発表をしたこと、5年生の町会加入者を増やすための施策を町会の方にプレゼンテーションする活動、6年生の自分たちの学級のオリジナルソースを選んでもらうための広告宣伝活動などが挙げられる。

実際に授業パートナーに自分たちの成果を見ていただき問題点を指摘してもらいさらに改善する活動は、この学習過程そのものが自分たちのスキルを向上させていかなければ、依頼主（授業パートナー）のニーズに応えられない構図を強制的につくり出すので、無意識的にも情報活用能力の育成につながっていくと考えられる。

先に述べた、2年生でのスライドづくりなどは、児童の作業を限定的にしているものの、2年生の発達段階としては高度な取り組みであった。しかし、十分にこどもたちが意欲的かつ主体的に活動できていた様子から、研究講師の先生から今後の徳持小の提案性のある授業実践であったとご評価いただいた。

今回、未来づくり科を研究していくに当たって、未来づくり科（1・2年は生活科、3・4年は総合）を中心に据えたカリキュラム・マネジメント表を作成したことも大きな財産になる。これらを生かし、今後、徳持小ならではの、池上徳持の町ならではの全体計画を充実させていくことが考えられる。

【課題】

未来づくり科の教科としての課題（予算の扱い、授業パートナーとの連携の困難さ）は、本紀要では割愛する。

全体計画を早期に作成し、組織的・系統的に指導していくことの重要性が浮き彫りになった。その中でも、5・6年生になるまでに、どのように創造的な資質・能力の素地を養っていくかを十分検討していくことが肝要である。未来づくり科では、授業パートナーの依頼を受けるという形で授業が構成されていくので、学級・学年で合意形成を図ったり流動的なグループ活動を行ったりする可能性もある。より高次の目標をもって意思決定をしたり困難を乗り越えていったりするためには、1～4年生で、創造的な資質・能力の素地を計画的かつ段階的に育成していくことが大切であると感じた。

具体的には、自分の意見を分かりやすく相手に伝えたり、相手の意図を考えながら話を聞いたり、それらを生かして話合いを進めたりすること。あるいは、自分の考えを大勢の前で発表したり、そのために効果的にICT機器を活用したりすること。自分の意見に説得力をもたせるために資料を活用したり、そのための資料を読み解いたり選んだりするリテラシーや算数的な技能。これらの資質・能力の要素を、5・6年生になるまでに養っていくことが必要であることを実感した。

未来づくり科と親和性の高い、生活科・総合的な学習の時間を中心に各教科でも、重点とした創造的な資質・能力の素地を養う学習過程や学習活動を十分に取り入れていくことが大切である。その際、留意しなければならないのは、各教科等の目標達成が大前提になるのであって、創造的な資質・能力の素地を育成することを中心に据えてはならないことである。

未来づくり科の指導の手引きが示す、「探究と創造を往還する学習過程」のうち、探究の学習過程は、総合的な学習の時間の学習指導要領が示す「探究的な学習における児童の学習の姿（探究的な学びのサイクル）」とほぼ同一である。本校ではこれまで総合的な学習の時間についての研究実践に乏しく、総合の学習を充実させるような校内研修は近年では行われてきていなかった。探究的な学びを支える「考えるための技法」なども、全校的な取り組みとして実践されてきたことがなかった。今後は、本誌3年の国語科学習指導案に添付された「考えるための技法と思考ツール一覧（p21~24）」などの思考ツールを系統的・往還的・汎用的に活用していく計画を立てることが望ましいと思われる。

研究が発足した当初は、未来づくり科への理解が乏しく、今年度の研究主題は、外部との連携を中心に据えた文言となっていた。未来づくり科を実施する5・6年の学習過程では、外部（授業パートナー）との連携が必須であるが、1～4年はそうではない。未来づくり科への理解が深まるにつれて、外部連携に焦点化するのか、創造的な資質・能力（とその素地）の育成を重点とするのか、この点についての認識が曖昧になってしまった。次年度以降は、今年度未来づくり科の単元計画ができあがったことから、創造的な資質・能力（とその素地）の育成について深めていくことが重要であると考えられる。しかし、引き続き、学習過程を構成していくにあたって、よりよい授業パートナーの選定なども引き続き検討していく必要はある。

本研究を通して、本校の未来づくり科の単元計画と学習過程が創出され、アンケート結果から、わずかではあるが児童の創造的な資質・能力の高まりが見られた。未来づくり科は、確実に児童の地域への理解や自分ができることを主体的に考える力が身に付く教科となり得ることが示唆された。5・6年生までに身に付けておくべき資質・能力及びそれらの素地を、組織的・計画的に育成することで、未来づくり科での創造と探究を往還する学習過程や、児童の学びが充実すると思われる。本年度の研究は、新教科のスタートアップに尽力したことにより、次年度以降の学習計画や実践のイメージを教員全体で共有することができた。反面、目指す児童像に向けた研究は、深まりが見られなかった。

次年度以降、改めて目指す児童像を明確にし、本校の特色と児童の実態に合った手段と手だてで、地域と連携しながら徳持小学校の児童をより豊かに成長させていくことが求められている。

お わ り に

令和7年度から全校で実施する新教科「おおたの未来づくり」に先駆け、本校は今年度、大田区教育委員会独自教科新設に向けた研究実践校として、研究に取り組んでいきました。

はじめは、「STEAM教育」「ものづくり」「地域の創生」「ICTの活用とプログラミングによる制御」「地域・企業との連携」といったキーワードを与えられながらも、授業の完成形が見えないところからのスタートでした。そのような中、研究主任を中心に本校の研究推進部が何度も研究推進部会を行い本校の研究の筋道を定め、全教員で校内研究会や職員会議の中で理解を深めていくことから始めました。そこから、他の教員に伝える形で勉強会を行う等、まずは新教科「おおたの未来づくり」に対する理解を深めていきました。

5年生は「地域の創生」をテーマに、「プロジェクトT～挑戦者たち～」という単元を計画しました。池上徳持南町会の皆様に授業パートナーとして連携していただき、よりよい町づくりを目指して、町会からの願いを叶えるために提案したり、課題を解決するために、情報を収集、整理、分析してアイデアを練り上げて実践したり、発信したりすることができました。

池上徳持南町会の菅野様をはじめ、池上徳持南町会の皆様には何度も学校に足を運んでいただき、授業パートナーとして子どもたちの指導に協力をいただきました。

6年生は「ものづくり」をテーマに、「キッチンカー『とくもち号』」という単元を計画しました。(株)ワークストア・トウキョウドウの鳥川様に授業パートナーとして連携していただき、販売を目的とした、オリジナルのホットドッグソース作りに取り組みました。

新教科「おおたの未来づくり」では、中学年、低学年で培われた素地が不可欠です。その素地を育成するために、1～4年生でも高学年と同じように研究を重ね、研究授業を行いました。

はじめに述べた通り、授業の完成形が見えない中での研究でした。そんな中でも、新しいことに積極的にチャレンジするという精神をもち、大変意欲的に研究に取り組んで参りました。そして、これからにつながる素晴らしい研究成果をあげることができました。これは、本校の教職員全員が主体的に研究に取り組んできた成果です。そんな教師の様々な工夫や思いが込められた授業を受け、目を輝かせ学習に取り組んでいる子どもたちの姿が随所に見られ、とてもうれしく感じています。

先日、文部科学省の認定があり、教科化されることが決定しました。来年度から、全校で授業が始まります。他校では、きっと我々が年度当初に感じていたように、五里霧中の中でのスタートになります。そのため我々は、今年度研究した成果を他校に広めていかなければならない立場になります。

最後に、授業パートナーとして多大なるご協力をいただいた池上徳持南町会の皆様、(株)ワークストア・トウキョウドウの鳥川様、心より感謝申し上げます。

副校長

おおたの未来づくりに関わる
カリキュラム・マネジメント表
及び
単元計画シート

生活科 年間指導計画 ～教科「おおたの未来づくり」への接続を意識して～【小学校第1学年】

【研究主題】

夢を育む感動体験を味わうことのできる「未来づくり科」の創出
～カリキュラム・マネジメントと地域材の活用～

【目指す児童像】

地域をより知り、地域とつながり、生き生きと学ぶ子

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
各教科 【国・算・ 音・図・体】	おはなしき きたいな② なんていおう かな② こんなものみ つけたよ②	よくきて、 はなそう② としょかんへ いこう②	わけをはな そう② おおきくな った④	好きなこと、な あに⑦ こんなことが あったよ⑥ としょかん となかよし②	みんなにし らせよう②	しらせたいな、 見せたいな⑩	どんなおは なしが できるかな④	てがみをし らせよう⑥		これは、なん で しょう④	いいことい っぱい、一年 生⑩
生活科 ★おおたの 未来づくり 科との連携	がっこうだい すき いちねんせい⑥ いくぞ！がっ こうたんけ んたい⑬		なつとなか よし⑦			あきとなか よし⑩			ふゆとなか よし⑩		
			わたしのは なをそだて よう⑪ (1学期 5時間+2学期 6時間)		生きもの大 すき⑦		じぶんで チャレンジ 大さくせん⑪			もうすぐ 2年生⑬	
特別活動	(3)ア1ね んせいにな って	(2)ウみん ななかよく	(2)エおい しいたのし いきゅうし よく	(2)ウあ！ あぶない よ！	(3)ウおは なしめいじ んになろう	(2)ウきを つけてある こう		(3)イいつ もぴかぴか そうじとう ばん	(2)アじぶ んできれい にしよう	(3)イきゅ うしょくと うばんあり がとう	(3)イ1ね んせいでな にができた かな
学校行事等 その他		とうぶ移動 教室(6) 運動会		とくもち フェスタ	伊豆移動 教室(5)		学習発表会	駅伝大会 (5, 6)		マラソン大 会(4, 5, 6)	

生活科 年間指導計画 ～教科「おおたの未来づくり」への接続を意識して～【小学校第2学年】

【研究主題】

夢を育む感動体験を味わうことのできる「未来づくり科」の創出
～カリキュラム・マネジメントと地域材の活用～

【目指す児童像】

地域をより知り、地域とつながり、生き生きと学ぶ子

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
各教科 【国・算・ 音・図・体】	絵を見てかこう (国：書く) ① 日記を書こう (国：書く) ④ ともだちはどこ かな (国：話す 聞く) ⑤	たんばのちえ (国：読む) ⑩ かんざつ名人に なろう (国：書 く) ⑩	メモをとるとき (国：書く) ③	あったらいい な、こんなもの (国：話す聞く) ⑦	ことばでみちあ んない (国：話 す・聞く) ③ みの回りのもの を読もう (国：読 む) ② 書いたら、見直 そう (国：書く) ② どうぶつ園のじ ゅうい (国：読 む) ⑩	そうだんにのっ てください (国：話す・聞 く) ⑧	紙コップ花火の 作り方・おもち ゃの作り方をせ つめいしよう (国：書く・読 む) ⑭	お話のさくしゃ になろう (国： 書く) ⑩	ロボット (国： 読む) ⑫	すてきなところ をつたえよう (国：書く) ⑩	楽しかったよ、 二年生 (国：話 す・聞く) ⑧
生活科 ★おおたの 未来づくり 科との連携	あたらしいこ といっぱい (4)	とび出せ！町の たんけんたい (10) 大きくそだて わたしの野さい (10)	みんな生きて いる (10)		せかいでひとつわたしのお もちゃ (12) おおきくそだて わ たしの野さい (2)		町のすてき つたえたい (12) もっと知りたい たんけんたい (14)		これまでのわたし これからのわたし (21)		
特別活動	(3) ア「2 年生になっ て」	(2) イ「な かよくあそぼ う」	(3) ウ「楽 しさ発見学校 図書館	(2) ウ「こ わいと思った ときは」	(2) ウ「じ しんからみを まもう」	(2) ウ「こ うつうのきま り」	(3) ウ「や くそくをまも って学しゅう しよう」	(3) イ「学 きゅうのため に」	(2) ア「手 あらいがいが げん気いっぱ い」	(2) エ「き ゅうしょくあ りがとう」	(3) イ「2 年生の1年 間」
学校行事等 その他		とうぶ移動 教室(6) 運動会		とくもち フェスタ	伊豆移動教 室(5)		学習発表会	駅伝大会 (5, 6)		マラソン大 会(4, 5, 6)	

総合的な学習の時間 年間指導計画 ～教科「おおたの未来づくり」への接続を意識して～【小学校第3学年】

【研究主題】

夢を育む感動体験を味わうことのできる「未来づくり科」の創出
～カリキュラム・マネジメントと地域材の活用～

【目指す児童像】

地域をより知り、地域とつながり、生き生きと学ぶ子

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
各教科 【国・社・算・理・音・図・体・外】			気持ちをこめて「来てください」 仕事のくふう、見つけたよ	本で知ったことをクイズにしよう	ポスターを読もう			わたしの町のよいところ 身近にひそむ交通事故	つたわる言葉で表そう お気に入りの場所、教えます		
	わたしたちの大田区			くらしとお店	くらしと工場		火さいから人々を守る 重さ 太陽の光 音のせいしつ 物の重さ	かわってきた大田区	発てんしていく大田区		
			風やゴムのばたらき	大きい数のしくみ			電気の通り道 じしゃくのせいしつ つくってあそぼう				
総合的な学習の時間 ★おおたの未来づくり科との連携	【とくもちたんけんたい】⑥★ ・地域巡り ・本門寺巡り ・社会との関連を図る	【タブレットに親しもう1】⑥★ ・写真の貼り付け方 ・コピー＆ペースト ・タイピングゲーム	【とくもちフェスタでお店を出そう】⑧★ ・出店内容を考える ・これまでの学習をふまえる ・学習発表会につながるよう	【身近な生き物をもっとしらべよう】④ ・理科の指導事項をこえてもよい ・理科・ICTとの関連 ・夏休み自由研究も	【タブレットに親しもう2】⑥★ ・タイピングゲーム ・ローマ字入力に慣れる ・国語科との関連を図る	【学習発表会をせいかうさせよう】②★ ・これまでの学習から何が発表できるか考える ・企業や地域とつながり出し物のブラッシュアップを図る ・とくもちフェスタとの関連を図る ・ICTや理科、社会との関連も検討する	【とくもちあんぜんマップをつくろう】⑧★ ・徳持小周辺の安全に関わる施設や設備を地図にまとめる ・実際に調べたことを発信する学習ゴールになるように、学習計画を児童と構成する ・社会との関連をもたせる	【身近な生き物をしらべて知らせよう】⑧★ ・地域の身近な生き物を調べる ・調べたことを2年生に発信する ・理科・ICTとの関連	【6年生にかんしゃの気持ちをつたえよう】⑥ ・お世話になった6年生に何ができるか考える ・考えたことを実行する ・6送会との関連を図る	【おかしの道具を使ってみよう】⑥★ ・洗濯板と七輪を体験する ・地域の方とつながり教えてもらおう ・社会との関連を図る	
特別活動	(3)ア3年生になって	(2)イ友達となかよくしよう	(2)ウ雨の日を楽しくすごそう	(2)ウ自分の身を守ろう			(3)イ学級のみんなのため	(2)ウ火事が起きたら			(3)アもうすぐ4年生
学校行事等 その他		とうぶ移動教室(6)運動会		とくもちフェスタ	伊豆移動教室(5)	社会科見学(3)	学習発表会	駅伝大会(5, 6)	マラソン大会(4, 5, 6)		

総合的な学習の時間 年間指導計画 ～教科「おおたの未来づくり」への接続を意識して～【小学校第4学年】

【研究主題】

夢を育む感動体験を味わうことのできる「未来づくり科」の創出
～カリキュラム・マネジメントと地域材の活用～

【目指す児童像】

地域をより知り、地域とつながり、生き生きと学ぶ子

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
各教科 【国・社・算・理・音・図・体・外】		聞き取りメモのくふう お礼の気持ちを伝えよう お礼の気持ちを伝えよう 新聞を作ろう	住みよい暮らし 電流のはたらき	きょう土の伝統文化と先人のほたらき がい数の表し方と使い方	パンフレットを読もう	クラスみんなで決めるには	もしものときにそなえよう 大田区に残る伝とう文化		調べて話そう、生活調査隊		理科とSDGs
総合的な学習の時間 ★おおたの未来づくり科との連携	【環境について調べよう～みんなの未来のために～】⑭ ★表現の工夫 ・学校からでるごみ ・ごみの量を減らすためには ・3R ・SDGs、どの目標が達成できるだろうか ・JICA 国際協力出前授業	【とくもちフェスタ】⑧ ・楽しめるお店づくり ・協同的な活動 ・振り返り、成果と課題	【やさしい町にしよう】⑮ ★地域との関わり ・白杖、車椅子、手話体験 ・だれにでも暮らしやすい町かという視点でよさや課題について考える ・障がい者の思いや願いを知り、地域を大事にしようとする	【つなげよう東京の伝統文化】⑭ ★地域との関わり ・大田区の伝統文化について知る ・伝統文化を受け継いでいる人へのインタビューがしたい ・受け継いでいくための活動を考える	【学習発表会】⑤ ・学習内容を生かした発表	【未来の自分へ向かって】⑨ ・長所、短所について考える ・将来について考え、手紙にまとめる	【感謝の気持ちを伝えよう】⑤ ・6年生へ感謝の気持ちを伝える方法を考え、実行する				
特別活動	(3) ア 4年生になって	(2) イ 自分や友達のよいところ	(3) ウ 知りたい調べたい分	(2) ウ 交通事故ゼロ作戦	(2) イ みんながえがおになる、まほうの言葉	(3) ウ どうして勉強するのか	(3) イ ピカピカそうじ大作戦				(3) ア 今の自分が明日の自分をつくる
学校行事等 その他		とうぶ移動教室(6) 運動会		とくもちフェスタ	伊豆移動教室(5)		学習発表会	駅伝大会(5, 6)		マラソン大会(4, 5, 6)	

教科「おおたの未来づくり」年間指導計画【小学校第5学年】

【研究主題】

夢を育む感動体験を味わうことのできる「未来づくり科」の創出
～カリキュラム・マネジメントと地域材の活用～

【目指す児童像】

地域をより知り、地域とつながり、生き生きと学ぶ子

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
各教科 【国・社・算・理・音・図・家・体・外】	国「図書館を使いこなそう」	国「敬語」 国「きいて、きいて、きいてみよう」		図「みんなが使いやすいデザイン」 道「一ふみ十年」	国「文章に説得力をもたせるには」 道「健太の役割」	国「よりよい学校生活のために」 国「自然環境を守るために」	理「流れる水のはたらき」 図「あなたは、どう考える」 図「言葉から思いを広げて」	算「割合」 家「生活を支えるお金と物」 社「情報を生かすわたしたち」 図「言葉を使い分けよう」	算「変わり方調べ」 社「環境を守るわたしたち」	外「You can swim in January.」 社「環境を守るわたしたち」	
おおたの未来づくり科				「プロジェクトT」町内会の課題を解決するために（地域創生） ①町内会の副会長と打合せ ②副会長から児童へ依頼 ③解決策を考える ④町内会役員の方たちへ1回目の提案 ⑤フィードバックをもらう ⑥改善し、2回目の提案 ⑦町内会役員の方たちからの最終評価 ⑧通った案を実現させる→R6年度は新5年生へ引き継ぐ							
総合的な学習の時間				伊豆高原について調べよう			3Dプリンターを使いこなそう				3Dプリンターを使いこなそう
特別活動			(3)ウ 学校図書館の活用				(3)ウ 学ぶことが将来へつながる	(3)イ わたしの役割			
学校行事等 その他		とうぶ移動教室(6) 運動会		とくもちフェスタ	伊豆移動教室(5)		学習発表会	駅伝大会(5,6)		マラソン大会(4,5,6)	

教科「おおたの未来づくり」年間指導計画【小学校第6学年】

【研究主題】

夢を育む感動体験を味わうことのできる「未来づくり科」の創出
～カリキュラム・マネジメントと地域材の活用～

【目指す児童像】

地域をより知り、地域とつながり、生き生きと学ぶ子

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
各教科 【国・社・算・理・音・図・家・体・外】	国「地域の図書館 を利用しよう」	算「データの調べ方」		理「電気と私たちの暮らし」 家「くふうしようおいしい食事」		国「おすすめパンフレットを作ろう」	算「データを使って生活 を見なおそう」				
おおたの未来づくり科			「キッチンカー『とくもち号』」(ものづくり) ①企業との打合せ ②児童と企業の顔合わせ ③市場調査 ④試作1、企業からの助言 ⑤改善、試作2、クラス代表決め(学級での話し合い) ⑥学習発表会での発表・販売準備 ⑦学習発表会での発表・販売 ⑧学校代表のソース決定(企業側が決める) ⑨店頭での販売								
総合的な 学習の時間	「とうぶについて調べよう」							「未来へはばたけ」(キャリア教育)			
特別活動											
学校行事等 その他		とうぶ移動 教室(6) 運動会		とくもち フェスタ	伊豆移動教 室(5)		学習発表会	駅伝大会 (5, 6)		マラソン大 会(4, 5, 6)	

おおたの未来づくり 単元計画シート			徳持小	
単元名	新プロジェクトT～挑戦者たち～		学年	5年生
内容	B_地域の創生	カ：地域の取組の提案型	総時間数	35
目標	・地域、町会の方々と連携し、それぞれの仕事の内容や課題を捉え、課題に合った解決策を実現させるための知識・技能を身に付ける。 ・課題を解決するために、情報を収集、整理、分析してアイデアを練り上げて実践したり、発信したりすることができる。 ・様々な人々と関わりをもち、よりよい町づくりのために、試行錯誤を繰り返しながら自ら主体的に取り組もうとする態度を養う。			
指導計画の概要				
学習過程	主な学習活動			外部連携・教材等
コンセプト	・町会の方がもつ課題について知る。 ・課題を解決するための学習計画を立てる。			・町会の方 ・ワークシート
デザイン	・課題を解決するために、インタビューをしたり、アンケートを取ったりして情報を収集する。 ・収集した情報をもとに、自分たちが取り組む実践や発表内容について検討する。 ・検討した内容を形にするために、グループで役割分担を行い、活動する。 ・作成、もしくは計画した内容をグループで確認し、町会の方への中間発表会の準備を行う。 ・町会の方に中間報告を行い、自分たちの取り組みのよい点や改善点について意見をもらう。			・アンケート ・町会の方 ・タブレットPC
クリエイション	・中間発表会でもらった意見をもとに、グループで取り組む実践や発表の内容を再検討する。 ・各グループで役割分担を行い、再度自分たちの活動を再構築する。 ・最終発表会に向けて、グループで実践内容を振り返り、発表内容や発表方法について話し合う。 ・学習発表会で自分たちの取り組みについて説明する。 ・学習活動の振り返りを行う。			・タブレットPC ・町会の方
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数				
教科名等	本単元で補完する内容			授業時数
国語	話すこと・聞くこと	・話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。		9
	話すこと・聞くこと	・互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。		
	書くこと	・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。		
	書くこと	・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。		
	書くこと	・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。		
社会 (第5学年)	情報産業	・情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。		3
社会 (第6学年)				

算数 (第5学年)	データの活用	・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察すること。	3
	データの活用	・概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かすこと。	
算数 (第6学年)			
理科 (第5学年)			
理科 (第6学年)			
音楽			
図工	表現	・造形遊びをする活動を通して、材料や場所、空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付くことや、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えること。	3
	共通事項	・形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。	
	表現	・絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことから、表したいことを見付けることや、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えること	
家庭	家族・家庭生活	・家族や地域の人々とのよりよい関わりについて考え、工夫すること。	2
	家族・家庭生活	・日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、よりよい生活を考え、計画を立てて実践できること。	
	消費生活・環境	・環境に配慮した生活について物の使い方などを考え、工夫すること。	
体育			
外国語			
総合	・地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。		15

おおたの未来づくり 単元計画シート				徳持小
単元名	キッチンカー「とくもち号」		学年	6年生
内容	A_ものづくり	(ア) 新商品の企画提案型	総時間数	35
目標	・ ご協力頂ける企業の方と連携し、仕事内容や課題を捉え、企業の理念や専門性を踏まえた企画を実現させるための知識・技能を身に付ける。 ・ 新製品の企画提案を行うために、情報を収集、整理、分析してアイディアを練り上げて企画したり、提案したりすることができる。 ・ 自分や他者の強みを生かし、よりよいものづくりのために、試行錯誤を繰り返しながら主体的に取り組もうとする態度を養う。			
指導計画の概要				
学習過程	主な学習活動			外部連携・教材等
コンセプト	・ キッチンカーでの食品販売を行う際の課題について知る。 ・ 課題を解決するための学習計画を立てる。			・ 株式会社ワークストア・トウキョウドウ ・ ワークシート
デザイン	・ 課題を解決するために、インタビューをしたり、アンケートを取ったりして情報を収集する。 ・ 収集した情報をもとに、自分たちが取り組む実践や発表内容について検討する。 ・ 検討した内容を形にするために、グループで役割分担を行い、活動する。 ・ 計画した内容、活動の進捗状況をグループで確認し、企業の方への中間発表の準備を行う。（試作） ・ 企業の方へ向け、中間発表を行い、自分たちの取り組みのよい点や改善点について意見をもらう。			・ 株式会社ワークストア・トウキョウドウ ・ ワークシート
クリエイション	・ 中間発表でもらった意見をもとに、グループで取り組む実践や発表内容を再検討する。 ・ 各グループで役割分担を行い、再度自分たちの活動を再構築する。 ・ 最終発表会に向けて、グループで実践内容を振り返り、発表内容や発表方法について話し合う。 ・ 実際に新メニューを作成する。 ・ 学習発表会で自分たちの取り組みについて説明する。 ・ 学習活動の振り返りを行う。			・ 株式会社ワークストア・トウキョウドウ ・ ワークシート
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数				
教科名等	本単元で補完する内容			授業時数
国語	話すこと・聞くこと	・ 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。		9
	書くこと	・ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。		
社会 (第5学年)				
社会 (第6学年)				
算数 (第5学年)				
算数 (第6学年)	データの活用	・ 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察すること。		5
理科 (第5学年)				
理科 (第6学年)				
音楽				
図工	表現	・ 絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことから、表したいことを見付けることや、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えること		3
家庭	衣食住の生活	・ おいしく食べるために調理計画を考え、調理の仕方を工夫すること。		3
体育				
外国語				
総合	・ 企業の方の話から課題を見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、課題解決に取り組み、表現する力を身に付けている。			15